

2020年2月19日

熊本大学理学部

理学部 理学科 4年生アンケートの集計と分析

このアンケートは、卒業を目前にひかえた理学部理学科4年生(2019年3月卒業生)が、本学部の教育システムである「一学科による教育プログラム制」に対してどのような意見をもち、どう評価しているのかを調べるために本学部独自に実施したものである。全対象学生からのアンケート回答回収を目指して、各研究室にアンケート用紙必要部数を封筒に封入して配布し、以下提出期限までに教務担当事務まで提出依頼した。

提出期限: 2019年2月15日(月)

提出場所: 理学部教務担当

結果、171名から回答を得ることができた。回収率は97%であった。この報告書において回収したアンケートデータの集計とその分析を行った。

はじめに

2016年3月卒業生(2012年4月入学生)から卒業要件が変更されている。これ以降、2019年3月卒まで卒業要件の変更はないが、この変更がアンケート結果に影響を与えているかもしれないので、ここに変更点をまとめておく。

情報基礎A,Bに情報処理概論が加わり、教養教育の情報科目3単位が必修化された。

専門基礎科目の理学教養科目が教養教育の理系基礎科目に変更された。

必修外国語科目が10単位から8単位に変更された。

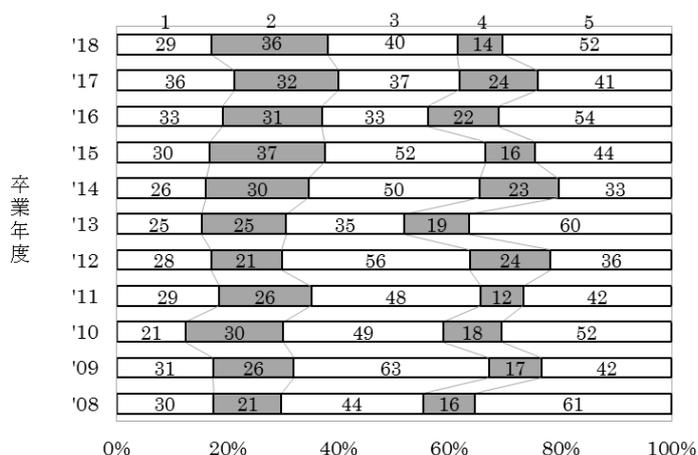
共通基礎科目以外の教養科目の必須単位も9単位から11単位に変更された。

これらに伴い、卒業研究の履修要件が理系基礎科目以外の教養科目について1単位増えた。

あなたのコースは何ですか

1. 数学 2. 物理学 3. 化学
4. 地球環境科学 5. 生物学

昨年度とほぼ同様の傾向を示す。生物の学生数が11名増。



A. 入学時の志望理由について

(A1) 入学時に熊本大学理学部を選んだ理由を記述して下さい。

回答数（意見など）：169件

九州内にあることや学力的に適切であること、一学科制により入学後にコースを選択できるなど、自由度の大きさに魅力を感じている点は例年と同じである。入試（前期日程）に英語が加わるが、本件に関し特に意見はなかった。

B. 教育システム，授業内容について

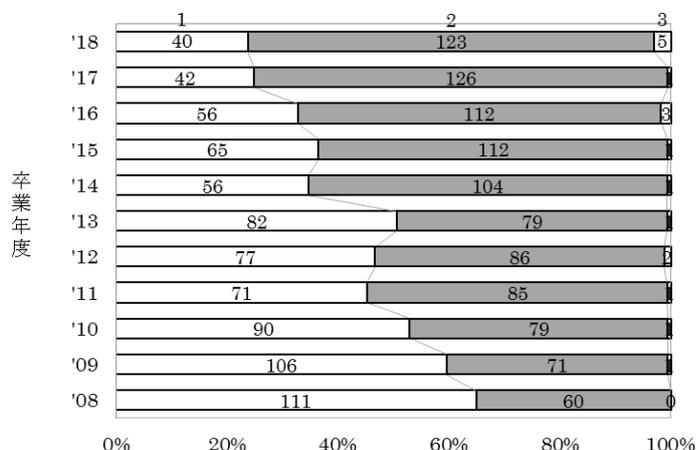
1年次理系基礎科目と2年次理学共通科目の教育内容について、お聞きします。

(B1) 1年次理系基礎科目の授業数は

1. 多い
2. 適当
3. 少ない

意見など：14件

「適当」と感じた学生の割合が6割を超えており理系基礎科目の重要性の理解が進んでいると考えられる。

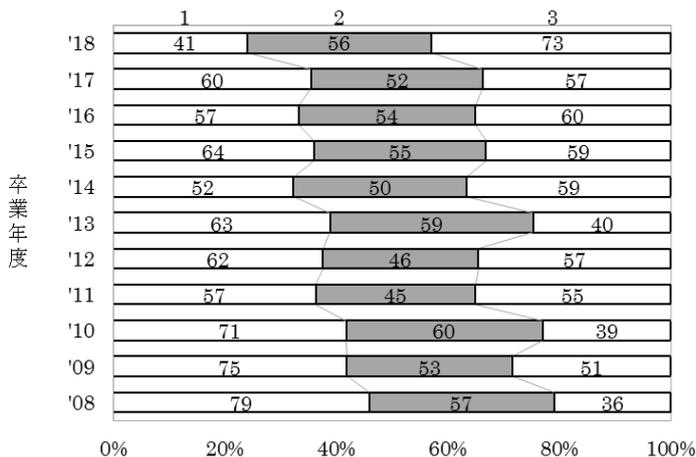


(B2) 1年次理系基礎科目において全ての科目を履修しなければならないことに関して

1. 負担に感じた
2. どちらとも言えない
3. 負担に感じなかった

意見など：23件

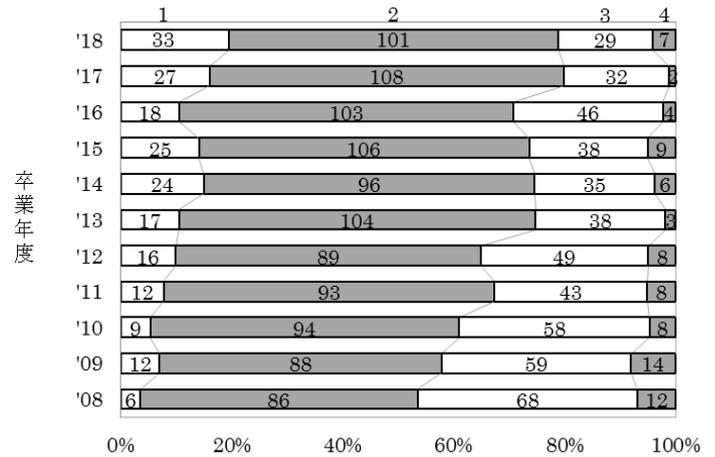
「負担に感じなかった」の選択数が16増えている点は注目に値する。高校での未履修科目や苦手科目について負担を感じたというコメントが多いのは例年通りであるが、一方で幅広く学ぶことができ有益であったとのコメントが散見された。



(B3) 1年次理系基礎科目において5分野全てを履修したことは有益でしたか？

1. 非常に有益だった
 2. 有益だった
 3. あまり有益ではなかった
 4. 有益ではなかった
- 意見など：17件

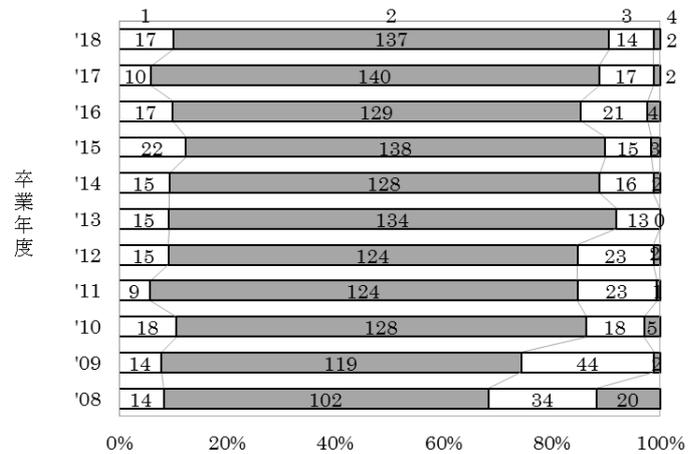
一部に否定的なコメントもあるが、非常に有益または有益だったとの回答が大半を占めており、おおむね高評価を得ている。



(B4) 1年次理系基礎科目の授業の水準は

1. 難しかった
 2. 適当であった
 3. やさしかった
 4. その他
- 意見など：15件

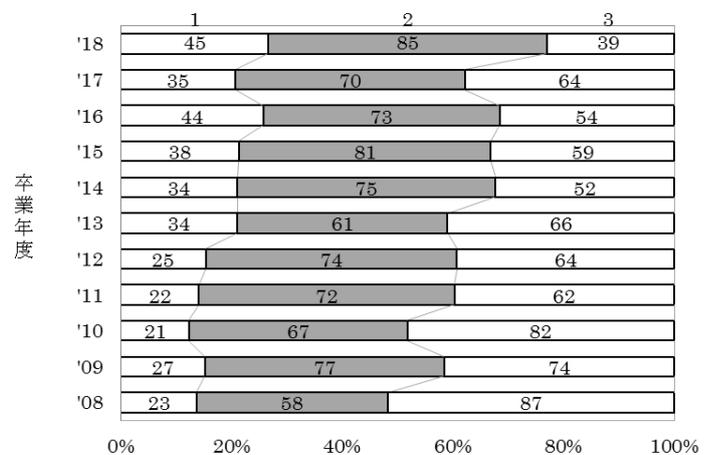
例年通り「適当であった」との回答が多く、約7割に達する。一方でもっと難易度をあげても良い、というコメントも複数確認する。



(B5) 1年次では、ゆとりを持って学べましたか。

1. ゆとりがあった
 2. どちらも言えない
 3. ゆとりがなかった
- 意見など：14件

「ゆとりがあった」という学生の割合が増え、「ゆとりがなかった」という学生の割合が大幅に減る。

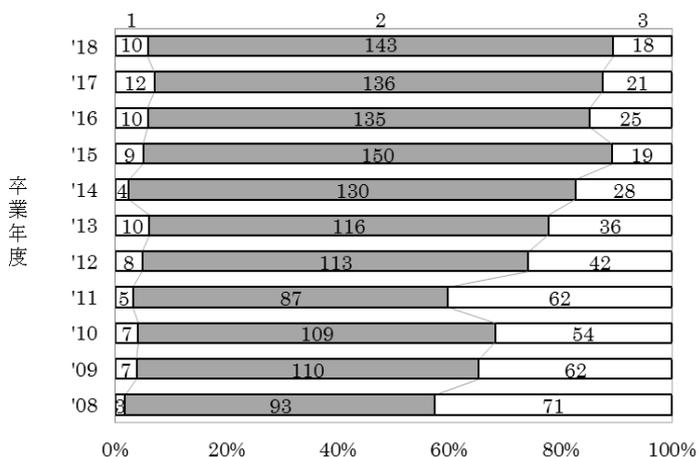


(B6) 2年次理学共通科目の授業数は

1. 多い
2. 適当
3. 少ない

意見など：13件

「適当」との回答が大勢を占めている。選択の自由度の大きかった点が良かったとのコメントが複数確認された。

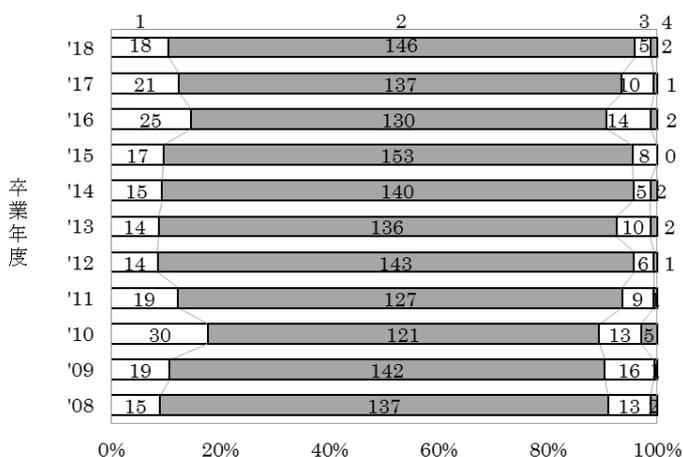


(B7) 2年次理学共通科目の授業の水準は

1. 難しかった
2. 適当であった
3. やさしかった
4. その他

意見など：12件

「適当だった」の割合が大きく、7割を超えている。2年次になって各自が希望する専門分野の授業を自由に選択できることが支持されていると思われる。

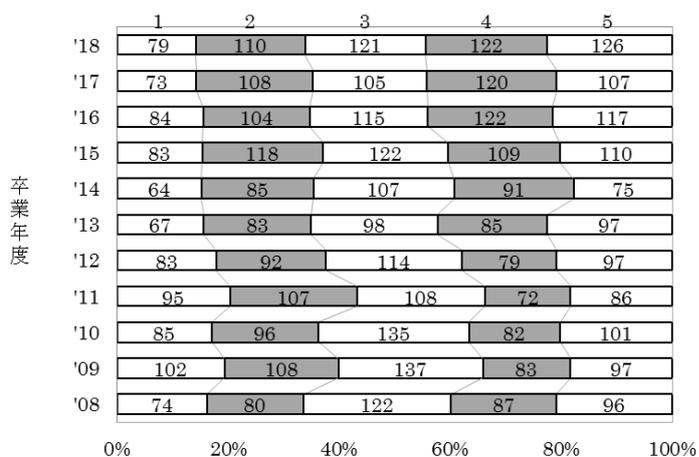


(B8) 2年次理学共通科目で履修した分野を選んで下さい。ただし、情報処理概論と理系基礎科目の統計学Ⅰ、Ⅱは除きます。(複数選択可)

1. 数学
2. 物理
3. 化学
4. 地球
5. 生物

意見など：7件

全体に均等化しており、例年通りの結果である。地学の理学共通科目を履修する学生数が徐々に増えている点が注目される。

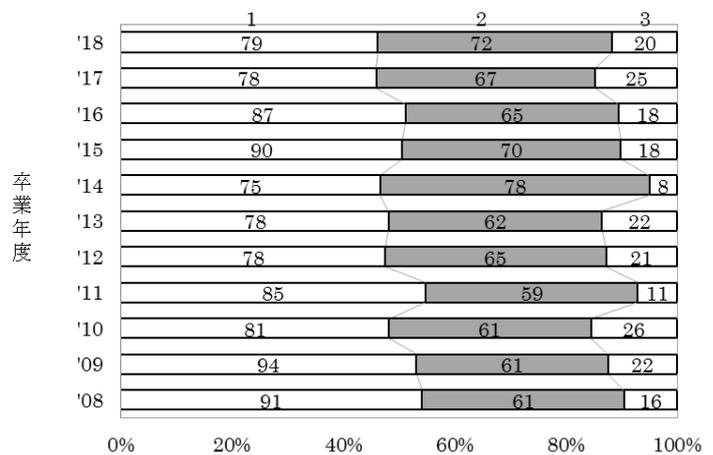


(B9) 2年次では、ゆとりを持って学べましたか。

1. ゆとりがあった
2. どちらも言えない
3. ゆとりがなかった

意見など：14件

ほぼ例年同様の傾向である。

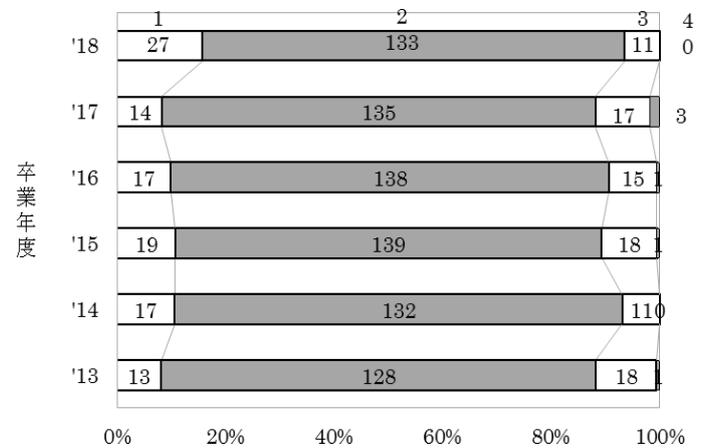


(B10) 2年次理学共通科目は、これまでの学修において有益でしたか？

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

意見など：9件

「有益であった」との学生が大半を占め、好意的なコメントが多い。「非常に有益だった」の数が増えている点が注目される。



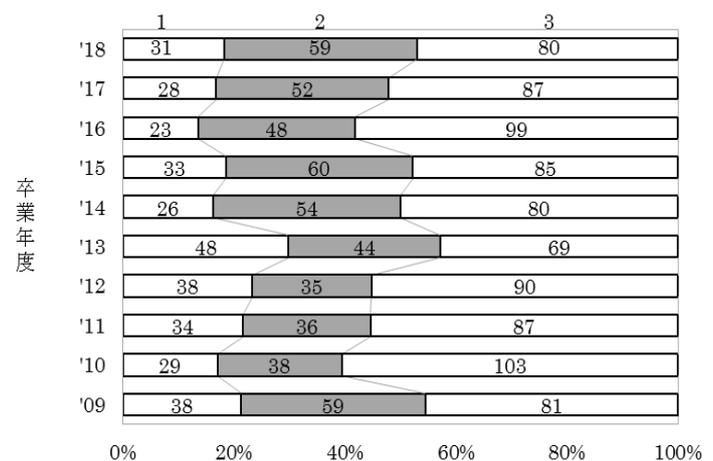
教養教育における科目についてお聞きます。

(B11) 理学部では卒業要件単位 124 単位の内、23 単位は理系基礎科目以外の教養教育の単位を取得する必要があります。負担に感じましたか。

1. 負担に感じた
2. どちらとも言えない
3. 負担に感じなかった

意見など：13件

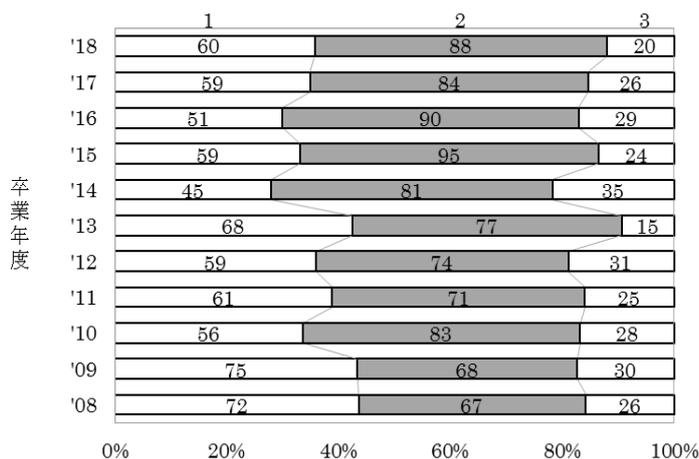
ここ数年とほぼ同様の傾向を示す。もっと勉強したい旨のコメントが確認された。



(B12) 基礎セミナーは、大学教育を受けるために必要な思考力や表現力など、基礎的素養を培う必修科目として開講されています。基礎セミナーについてどう思いますか。

1. 満足するものであった
 2. どちらとも言えない
 3. 不満があった
- 意見など：15 件

昨年度とほぼ同様の割合であるが、いくつかやや否定的なコメントがあった。



(B13) 基礎セミナーに関して、授業内容や 100 クラスの中からクラスを選ぶ方法など、意見があれば自由に記述して下さい。

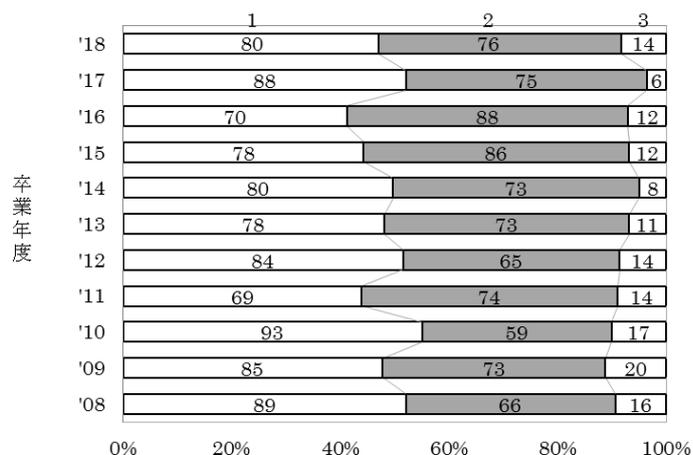
回答数（意見など）：41 件

肯定的な意見と否定的な意見のいずれもあり、評価は担当教員に寄るものと思われる。

(B14) 情報基礎についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
 2. どちらとも言えない
 3. 不満があった
- 意見など：16 件

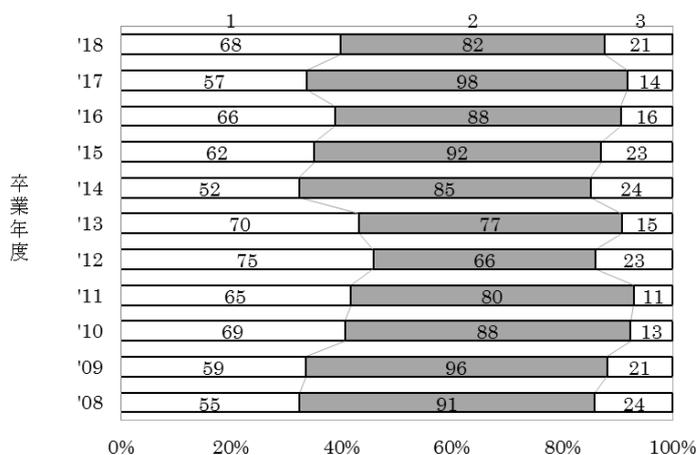
ほぼ例年同様の割合である。



(B15) 1 年次の既修外国語（英語）科目についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
 2. どちらとも言えない
 3. 不満があった
- 意見など：15 件

「満足するものであった」の割合が増え、同時に「不満があった」の割合が増す。コメントについても、肯定的コメントと否定的なコメントの両者が確認される。

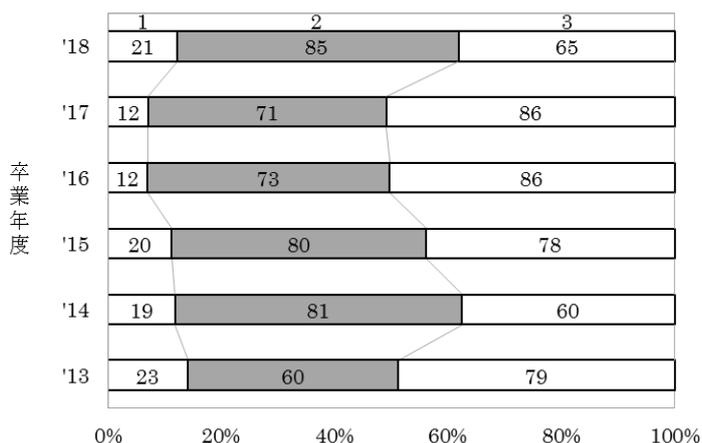


(B16) 1年次の既修外国語（英語）科目を履修してコミュニケーション能力が身に付きましましたか.

1. 身に付いた
2. どちらとも言えない
3. 身につかなかった

意見など：16件

「身に付いた」の割合が増え、「身につかなかった」の割合が減る。幾分ではあるが改善の状況が伺える。

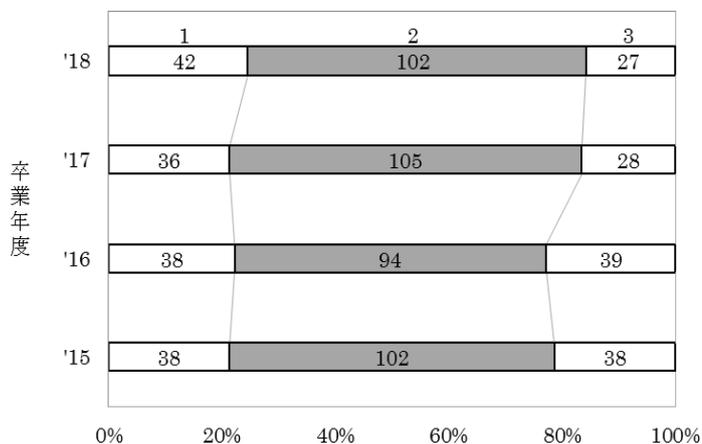


(B17) 2年次の既修外国語（英語）科目についてどう思いますか.

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

意見など：16件

例年通り「どちらとも言えない」の回答が6割近くを占めている。学生が講義の意義を理解できていないか、教員が説明しきれていない様子がコメントを通して感じられた。

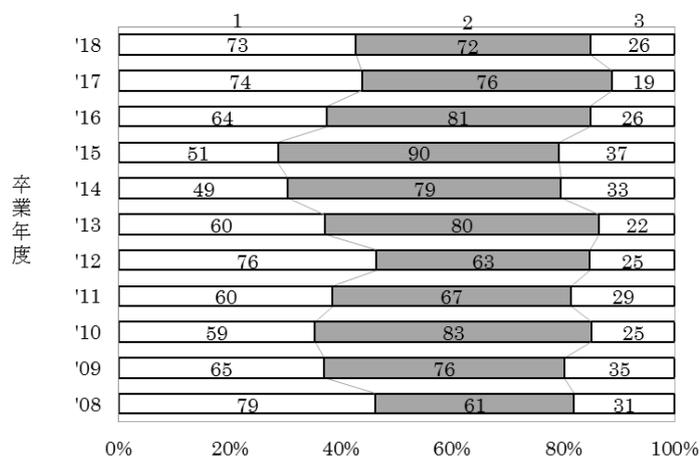


(B18) 初修外国語（ドイツ語またはフランス語）科目についてどう思いますか.

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

意見など：20件

ほぼ例年通りの割合であるが、若干「不満があった」の割合が増加している。



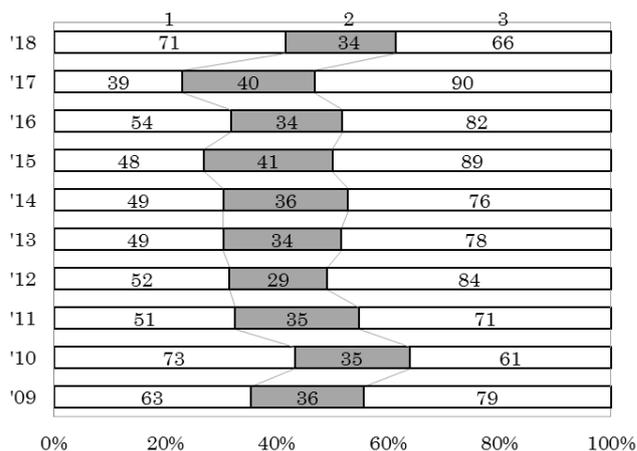
(B19) 初修外国語としてアジア圏の言語を選択できるとしたら履修しましたか。

1. はい
2. どちらとも言えない
3. いいえ

意見など：13件

昨年より「はい」の回答が倍近くに増加、「いいえ」の回答が大幅に減少する。中国語、韓国語に興味を示すコメントが確認される。

卒業年度



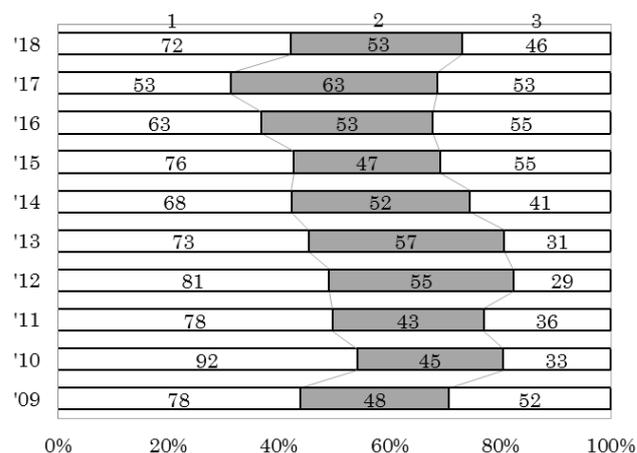
(B20) 自由選択外国語科目も含めて外国語科目の履修により異文化に対する理解が深まりましたか。

1. 深まった
2. どちらとも言えない
3. 深まらなかった

意見など：11件

ここ10年近く「深まった」の人数の減少傾向が続いていたが、ここにきて顕著な増加に転じている。

卒業年度



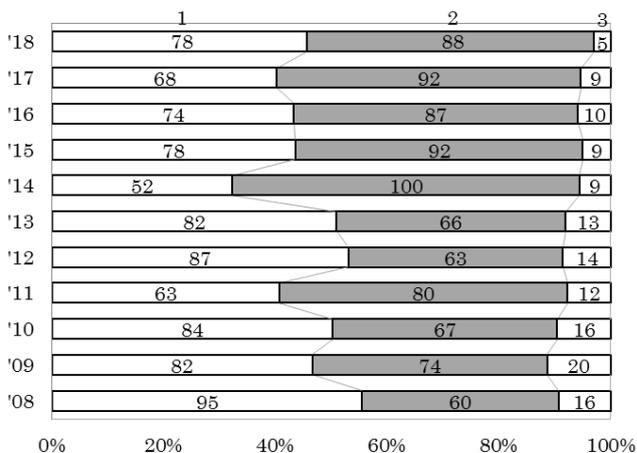
(B21) その他の教養教育科目（教養科目・社会連携科目等）についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

意見など：11件

割合はここ数年とほぼ同様である。コメントは肯定的な内容が多い印象である。

卒業年度



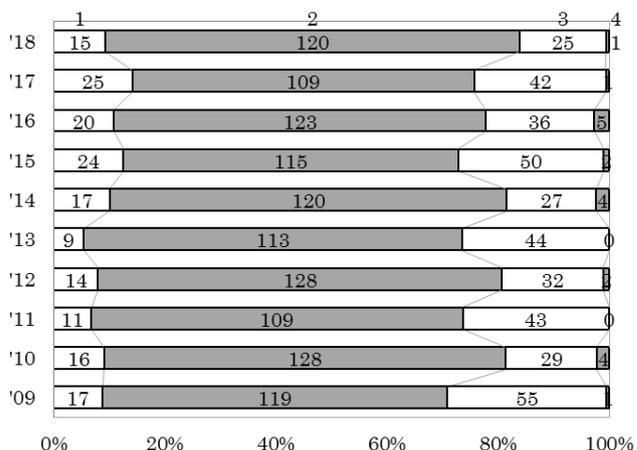
(B22) 教養科目でどの授業を履修するかをどのように決めましたか。

1. 授業科目間の関係を考えて決めた
2. 興味があるものを選んで決めた
3. 単位がとりやすいものを選んだ
4. その他

意見など：10件

例年通り「興味あるものを選んで決めた」割合が大きい。「単位がとりやすいものを選んだ」の割合の減少が顕著である。

卒業年度

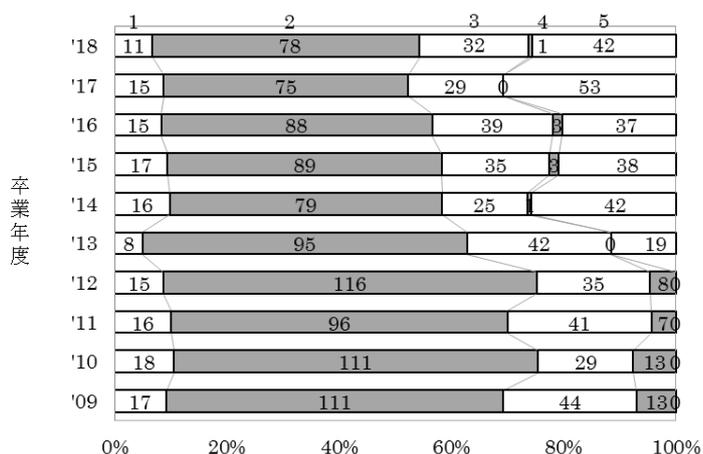


(B23) 社会連携科目でどの授業を履修するかをどのように決めましたか。

1. 授業科目間の関係を考えて決めた
2. 興味があるものを選んで決めた
3. 単位がとりやすいものを選んだ
4. その他
5. 履修していない

意見など：6件

ここ数年とほぼ同様の割合を示す。「履修していない」の割合の減少が確認される。

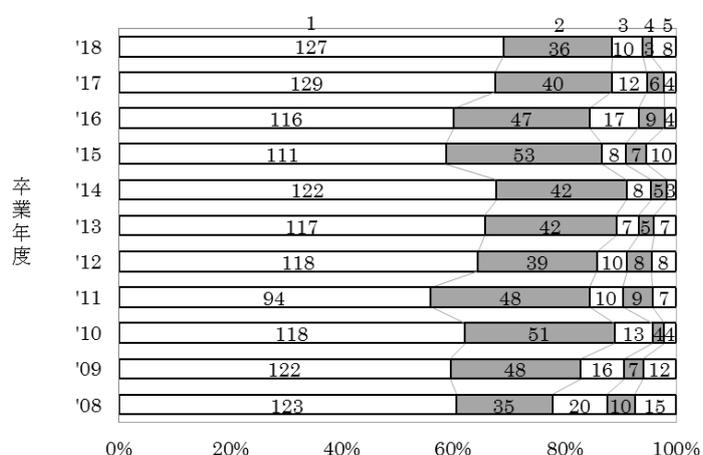


(B24) 教養教育で履修した科目の全てについてどう思いますか。(複数選択可)

1. 専門以外の授業が受けられて非常にためになった
2. 教養教育科目(教養科目等)は科目数が多すぎてどれを選べばよいかわからなかった
3. もっと高度な内容を取り扱ってほしかった
4. 高校と同程度で意味が無かった
5. その他

意見など：14件

昨年同様「非常にためになった」の割合が6割を超える。



(B25) 教養教育において特に印象に残った授業科目あるいは授業内容を挙げてください。

回答数(授業科目または授業内容)：85件

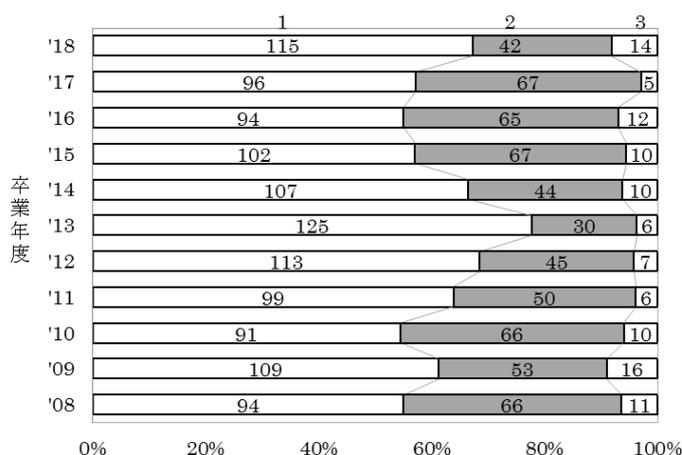
理学に限らず、建築や芸術、文化など、多様な講義を受講でき、概して満足している状況がうかがえる。

履修指導および3年次からのコース選択についてお聞きします。

(B26) コース選択のために提供された情報
(学生便覧, プログラム説明会, 推奨科目など)は

1. 十分である
 2. もう少し多い方がよい
 3. 不十分である
- 意見など : 9 件

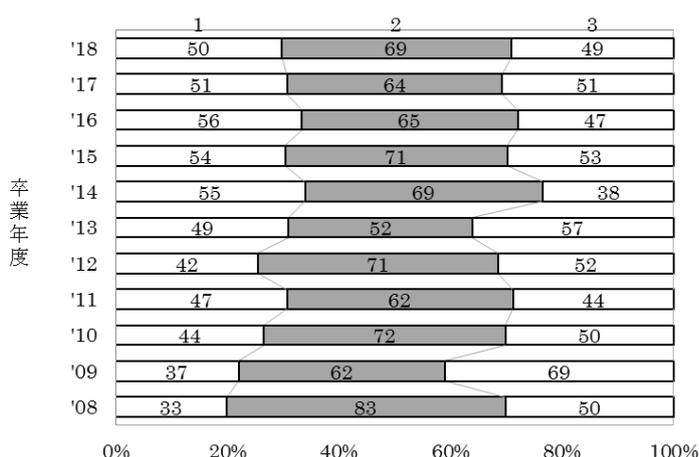
「十分である」の回答が 115 に増加しているが、「もう少し多い方がよい」「不十分である」という回答も依然少なくない。研究室の話聞いてみたいと思っているコメントがあり、学生にそのような機会を提供しても良いように思われる。



(B27) 2年次までのチューター制度は役に立ちましたか。

1. 助言をもらったり相談にのってもらい役にたった
 2. どちらとも言えない
 3. 提供された情報で十分であり、チューターとの面談は必要なかった
- 意見など : 20 件

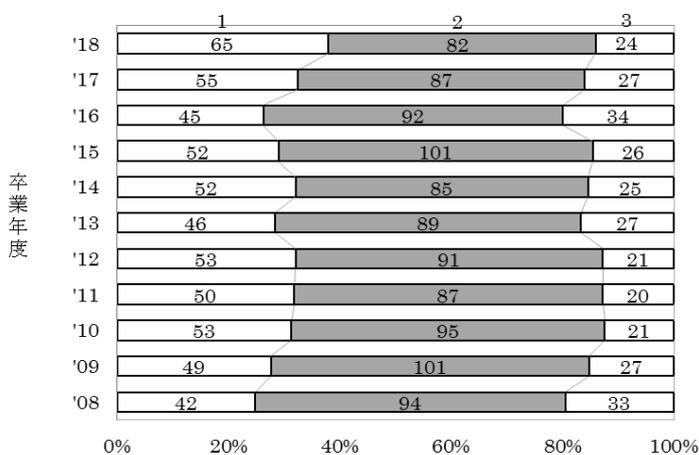
ほぼ例年同様の割合である。肯定的意見と否定的意見の両方を確認する。チューターによって対応が異なるため、学生の中にはチューター面談の意味を図りかねるコメントが見受けられた。



(B28) コース選択の際に, 1年次理系基礎科目, 2年次理学共通科目の教育内容は影響が

1. 非常にあった
 2. 少しはあった
 3. まったくなかった
- 意見など : 12 件

「非常にあった」の数が幾分増加。「非常にあった」と「少しはあった」という回答が大多数であることから、これらの科目は学生の選択肢を増やす有用な役割を果たしていると考えられる。

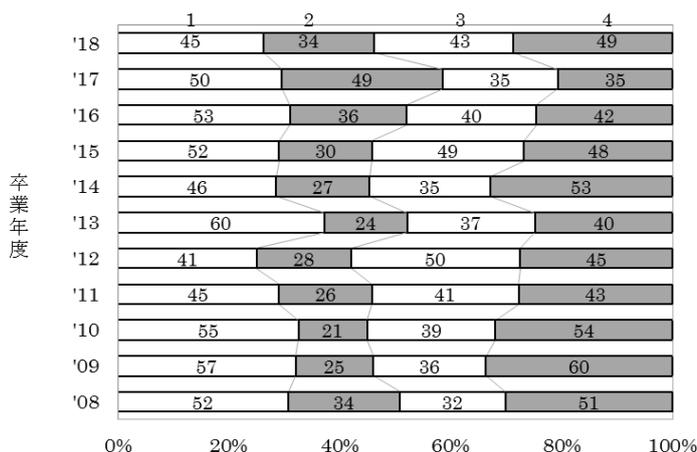


(B29) コースはいつ決めましたか.

1. 入学前
2. 1年終了時
3. 2年前期終了時
4. 2年後期

意見など：9件

「2年前期終了時」までに6割に近い学生がコースを決めている様子が見えてくる。

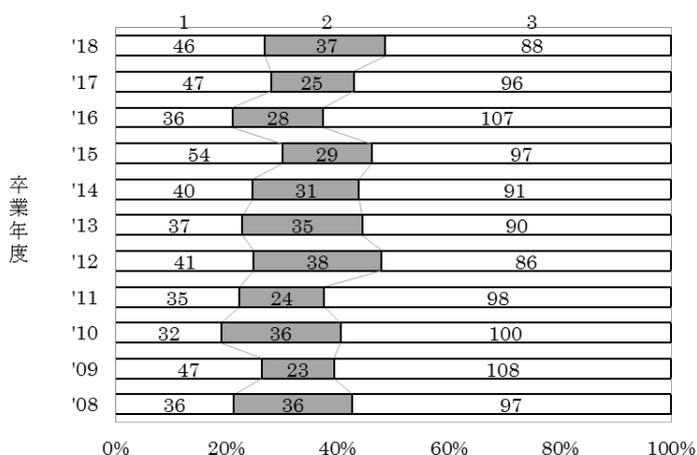


(B30) 入学時点で希望していたコースと最終的に選択したコースとで変更はありますか.

1. 変更した
2. 入学時点では特定の希望はなかった
3. 変更しなかった

意見など：15件

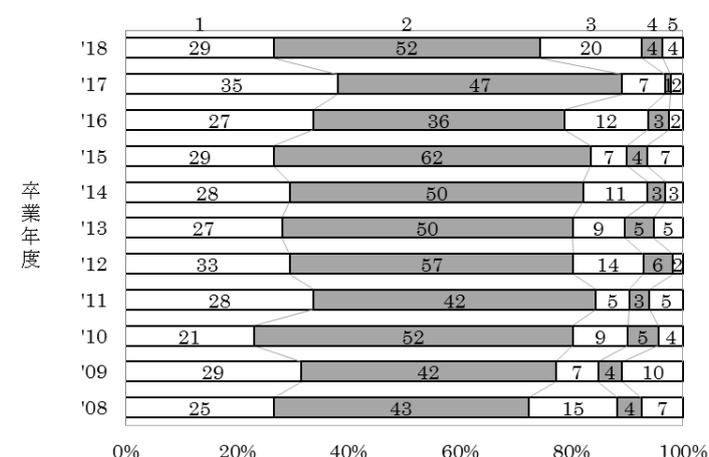
半数近くの学生は、入学時に希望していたコースに進んでいる。



(B31) 前問で1. 変更した あるいは 2. 入学時点では特定の希望はなかった を選んだ方にお聞きします。コースを変更した理由あるいは決めるときに考慮した事項は何ですか。(複数回答可)

1. 1年次理系基礎科目を受講して、コースを変更あるいは決めた
2. 2年次理学共通科目を受講して、コースを変更あるいは決めた
3. コース説明会を聞いて、コースを変更あるいは決めた
4. チューターとの相談を通して、コースを変更あるいは決めた
5. その他

意見など：7件



1, 2年次で、理系基礎科目と共通科目を受講してコースを決めた学生が大勢を占めている。このような状況の中、「コース説明会を聞いて、コースを変更あるいは決めた」の数が増えている点が注目される。

(B32) コース説明会の時期はいつがよいですか。現在は1年次および2年次の後学期開始時期に開催していますが、回数や時期に関して意見があれば自由に記述して下さい。

回答数 (回数や時期に関して) : 53 件

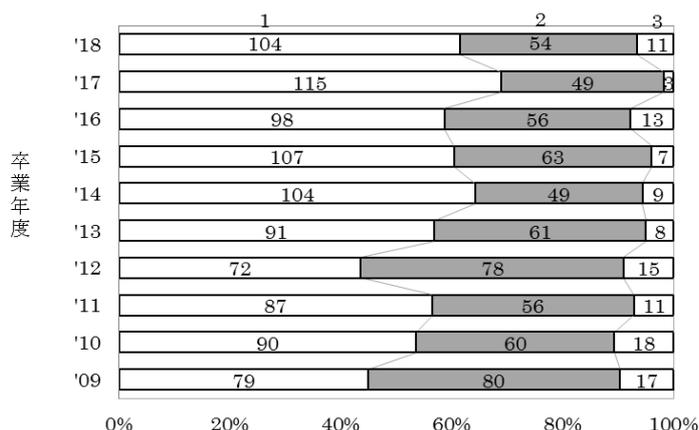
現在のままで良いとする意見がほとんどであった。一方で、もっと早期に説明会を行って欲しいとのコメントも確認する。

(B33) 現在、3年進級時にコースを選択していますが、今かえりみていつがよかったと思いますか。

1. いまのまま (3年進級時)
2. 2年後期から
3. その他

意見など : 19 件

ここ数年、「いまのまま (3年進級時)」が半数近くに達しているが、もう少し早くても良い、というコメントが複数確認される。



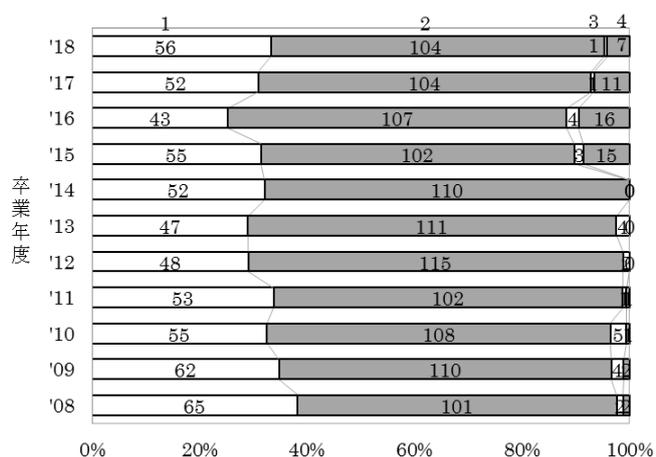
3. 4年次の理学専門科目 (卒業研究を除く) の教育内容についてお聞きします。

(B34) 理学専門科目の授業の水準は

1. 難しかった
2. 適当であった
3. やさしかった
4. その他

意見など : 17 件

ここ数年と同様の傾向で、「難しかった」が3割程度、「適当であった」が5割程度で推移している。

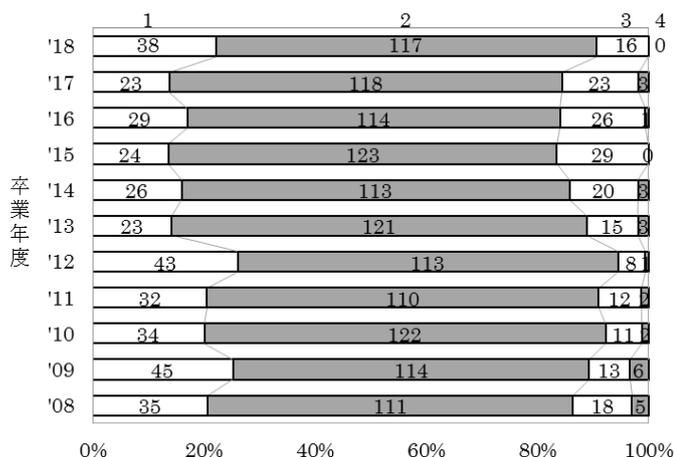


(B35) 1年次理系基礎科目, 2年次理学共通科目の教育内容は関連する理学専門科目を受講する上で有益でしたか?

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

意見など : 7 件

「非常に有益であった」や「有益であった」が合わせて8割以上に達しており、1, 2年次の学習の積み重ねがコースに分かれた後の3年次の学習へとつながっていると思われる。



(B36) 各コースの講義科目およびその内容について意見があれば自由にお書き下さい。また、新たに開講してもらいたい科目があれば、記述して下さい。

回答数 (意見や授業科目など) : 37 件

教員数が減少する中、対応が難しい面もあるが、やれるところから取り組むことが必要と思われる。

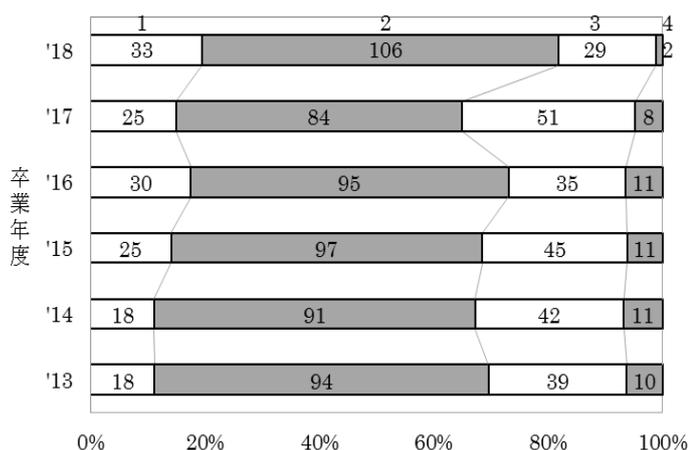
卒業研究の教育内容についてお聞きします。

(B37) 理系基礎科目の教育内容は卒業研究において有益でしたか?

1. 非常に有益だった
2. 有益だった
3. あまり有益ではなかった
4. 有益ではなかった

意見など : 4 件

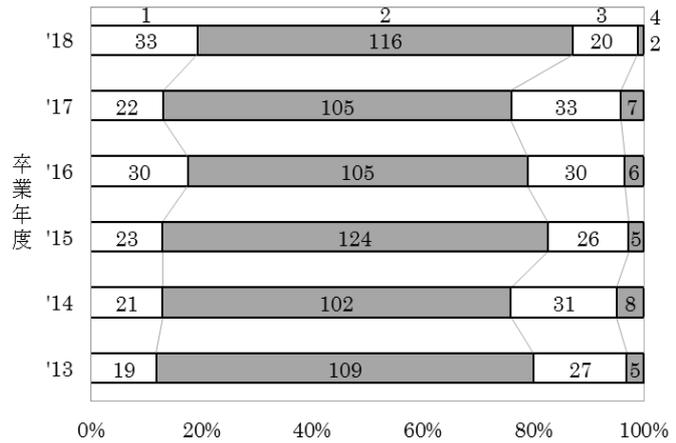
「非常に有益だった」と「有益だった」の意見が全体の8割近くを占める。理系基礎科目が卒業研究の基礎としての有益だったと思われる。



(B38) 理学共通科目の教育内容は卒業研究において有益でしたか？

1. 非常に有益だった
 2. 有益だった
 3. あまり有益ではなかった
 4. 有益ではなかった
- 意見など：3件

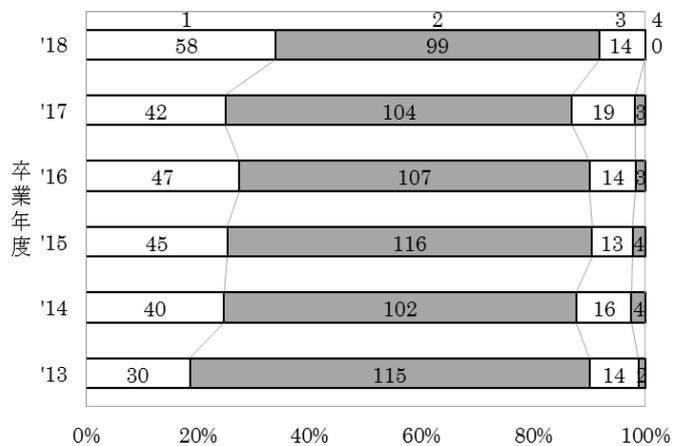
有益と判断する学生が約8割以上を占める。



(B39) 3年次の理学専門科目は、卒業研究において有益でしたか？

1. 非常に有益だった
 2. 有益だった
 3. あまり有益ではなかった
 4. 有益ではなかった
- 意見など：3件

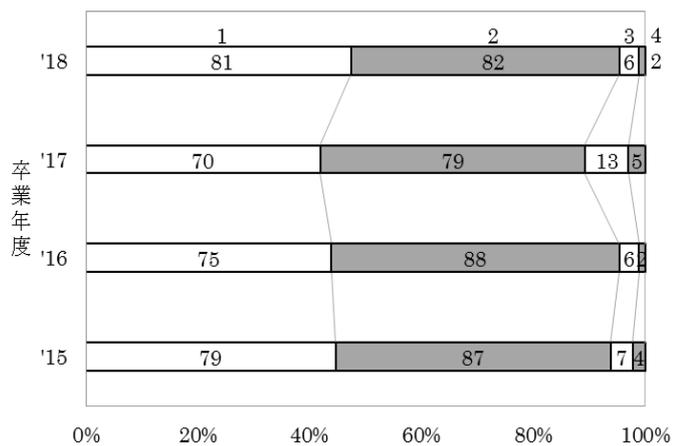
「非常に有益だった」と「有益だった」が9割近くを占める。3年次の理学専門科目の重要性が示されている。



(B40) 卒業研究そのものは、あなたにとって有益でしたか？

1. 非常に有益だった
 2. 有益だった
 3. あまり有益ではなかった
 4. 有益ではなかった
- 意見など：11件

「非常に有益だった」「有益だった」が約9割以上に達しており、コメントからも卒論をやり遂げた充実感がうかがえる。

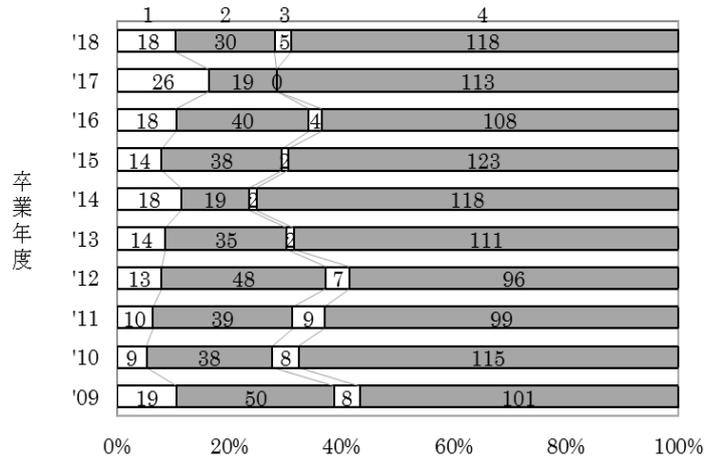


(B41) 教員免許を取得予定ですか。

1. 数学だけの教員免許を取得する
2. 理科だけの教員免許を取得する
3. 数学と理科の両方の教員免許を取得する
4. 教員免許は取得しない

意見など：3件

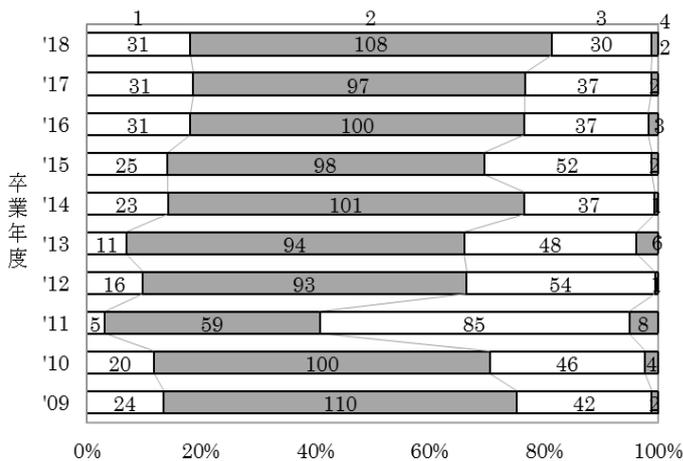
教員免許を志望する学生の割合は、例年通り全体の3割程度であった。



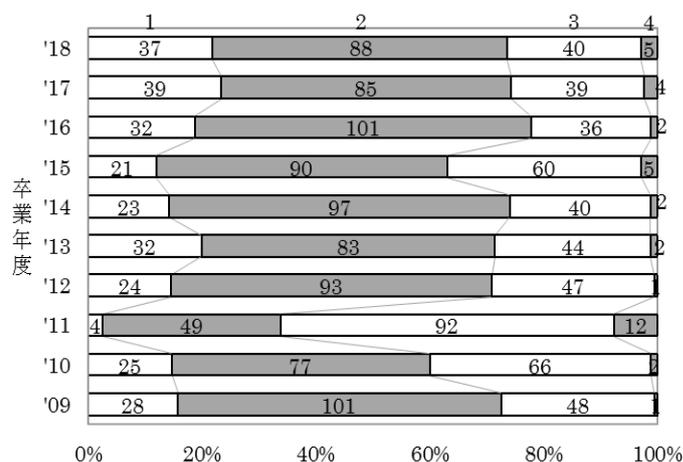
(B42) 4年間の履修を通してどのような力が身についたと思いますか。それぞれの項目に関して、次の4段階で回答してください。

1. よく身についた
2. ある程度身についた
3. もっと身につけたかった
4. 全く身につかなかった

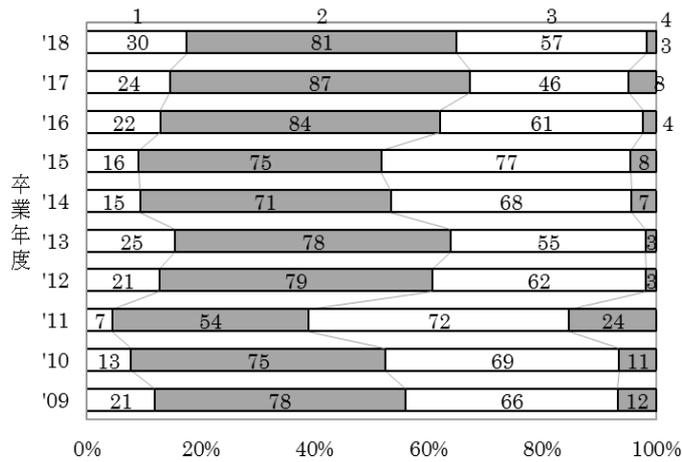
a. 教養・基礎学力：



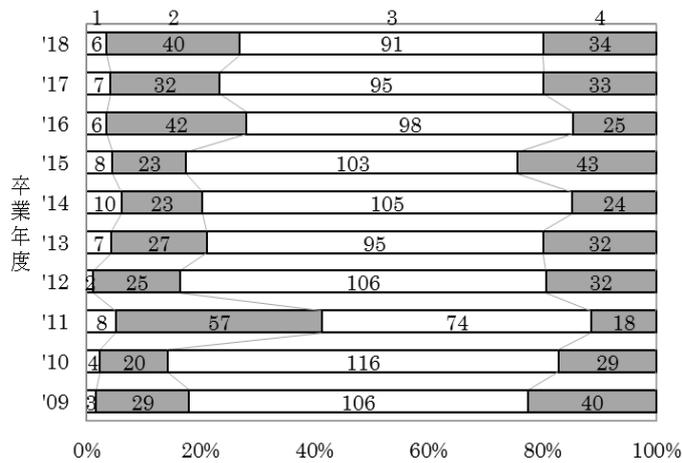
b. 専門知識：



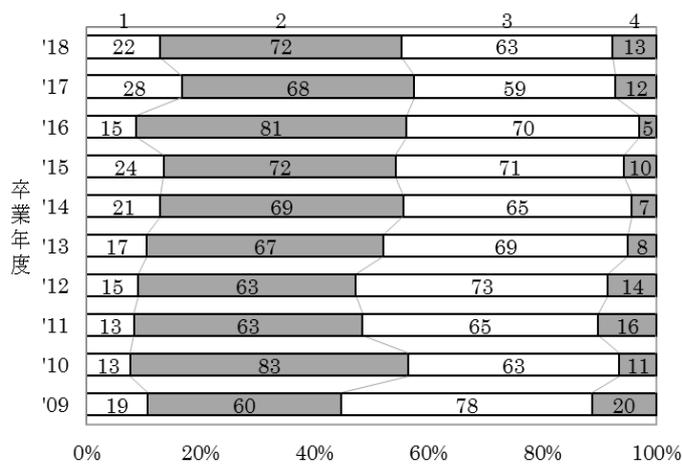
c. 技術・技能：



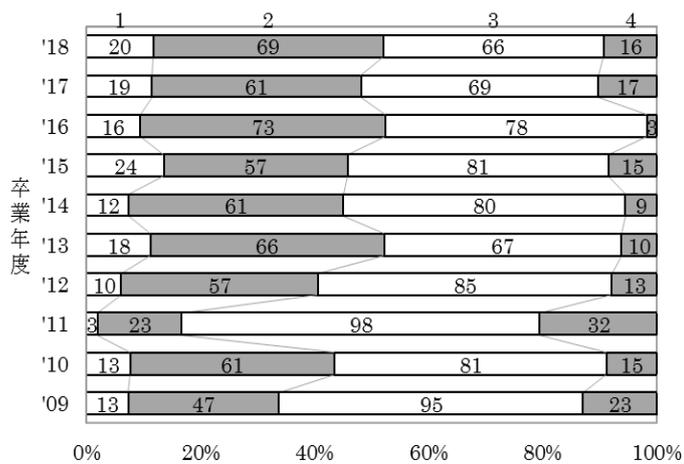
d. 英語を含めた外国語運用力：



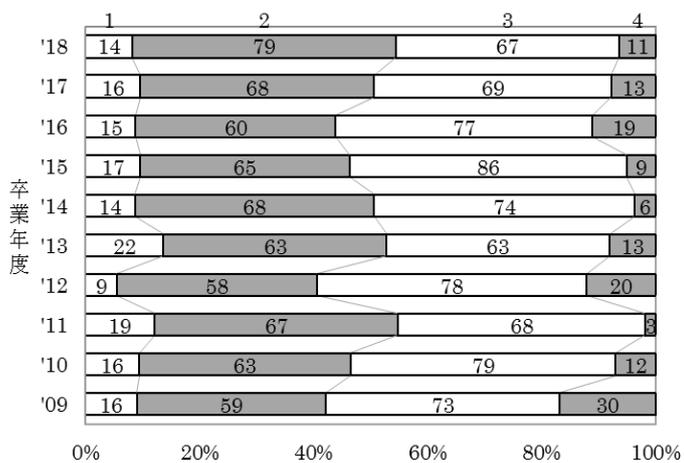
e. 一般的なコミュニケーション力：



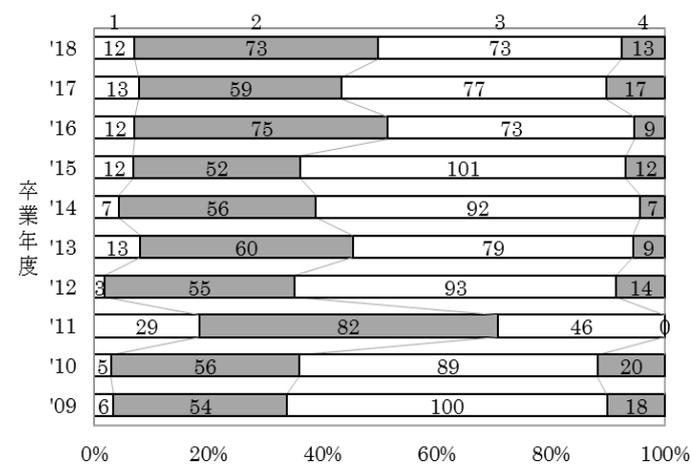
f. プレゼンテーション力：



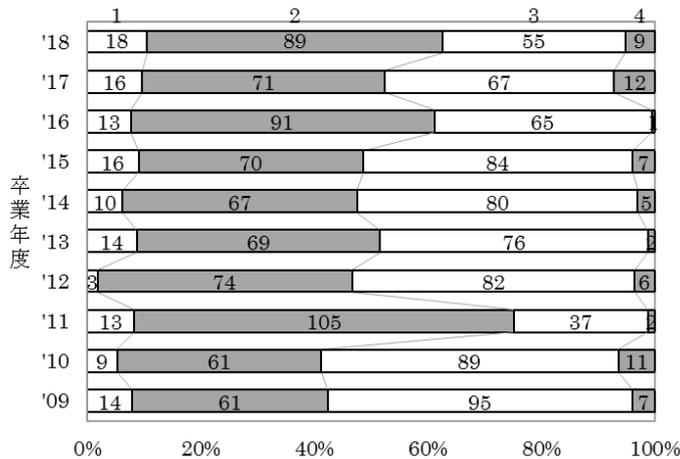
g. IT リテラシー・コンピュータ操作能力：



h. 独創性・発想力：



i. 課題発見・解決力：



意見など：4件

学生が特に「もっと身につけたかった」という課題意識を持ったのは、英語を含めた外国語運用力、独創性・発想力であり、この傾向はここ数年同じである。これらを身に付ける講義の開講を期待しているようではあるが、自分自身で努力を重ねるといった経験も積んでもらいたいとも思う。とくに、独創性・発想力はマニュアルやノウハウで身につくものではなく、普段のものごととの捉え方や考え方が重要との認識を教員が伝える必要があるかもしれない。

(B43) 今かえりみて、選択したコースは自分にとってよかったですか。

1. 思う
2. 思わない

意見など：7件

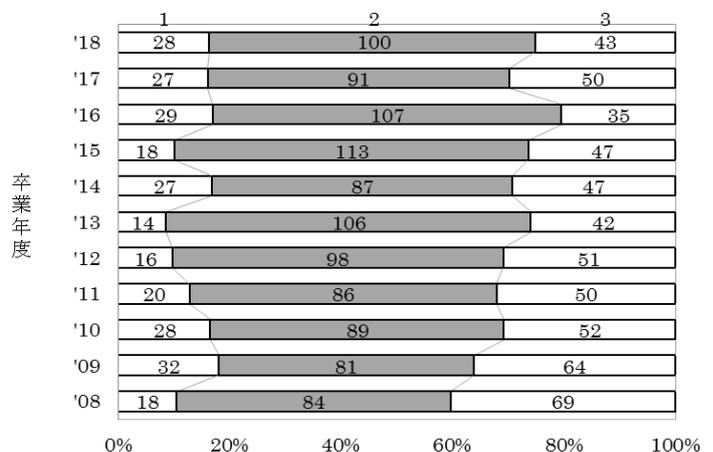
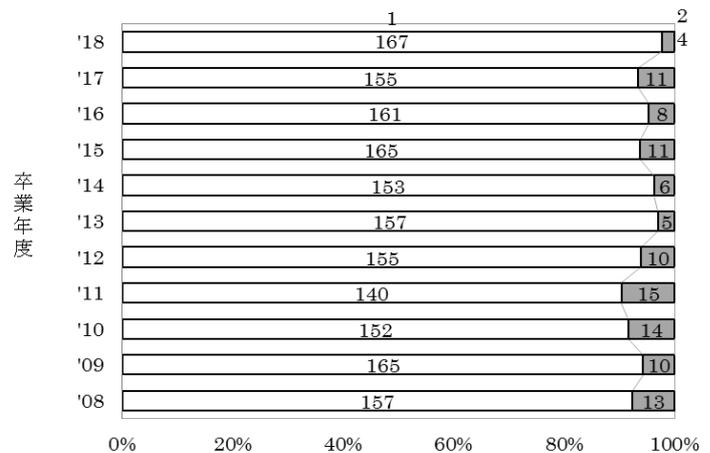
大多数の学生が選択コースに満足している様子がうかがえる。一方で、選択に迷い、間違いを指摘するコメントも見受けられた。

(B44) 4年間の大学生活において、授業に関すること以外で、課題を見つけて自主的に学習しましたか。

1. よくした
2. 時々した
3. ほとんどしなかった

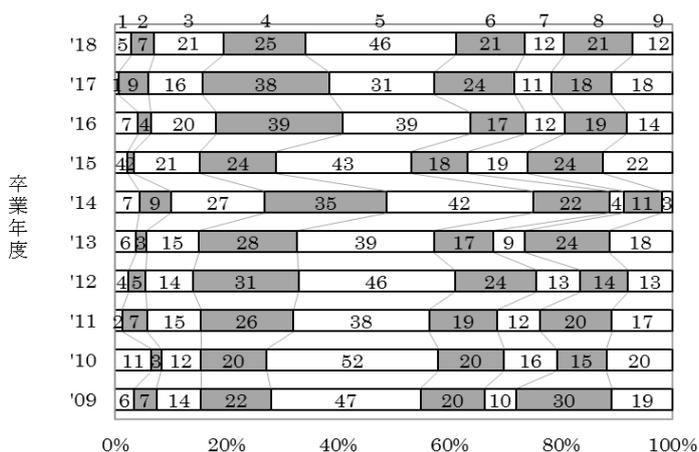
意見など：8件

「ほとんどしなかった」の割合が昨年よりやや減少する。



(B45) ふだんの学校外での学習時間は1週間で何時間ぐらいになりますか。

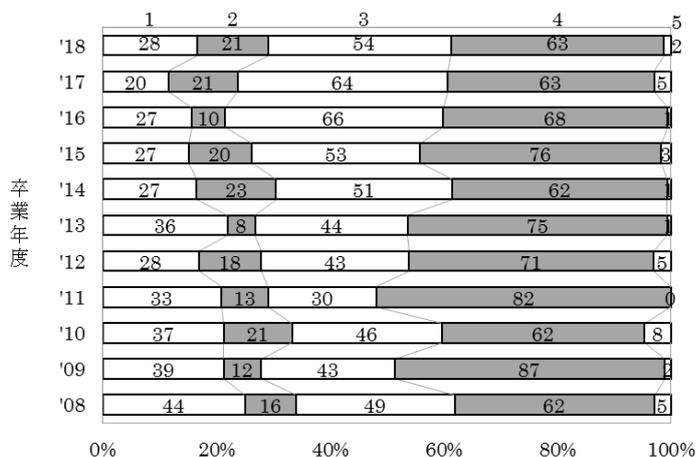
- 1. 21 時間以上
 - 2. 16~20 時間
 - 3. 10~15 時間
 - 4. 6~9 時間
 - 5. 2~5 時間
 - 6. 2 時間
 - 7. 1 時間
 - 8. 1 時間未満
 - 9. 全くしない
- 意見など：8 件



1 週間での学習時間が 2 時間以下という回答が 4 割近くあり、内容を精査する必要がある。特に卒論は大学の研究室で行う場合が多く、これがどのように考慮されているかを検討する必要があるだろう。

(B46) 4 年間の中で勉学意欲が最も上がったのはどの時期ですか。

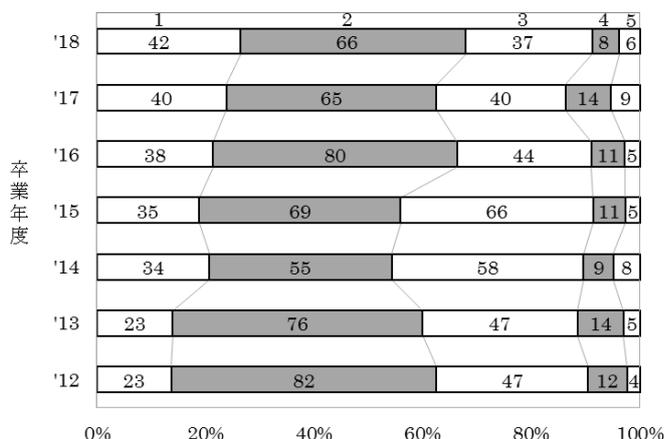
- 1. 1 年次
 - 2. 2 年次
 - 3. 3 年次
 - 4. 4 年次
 - 5. その他
- 意見など：16 件



1, 2 年次の選択割合の小さい点が気になるが、これは「最も上がった」のは？という設問設定にもよると考えられる。

(B47) 今かえりみて、学部の 4 年間で、いつの時期にもっと学修しておけば良かったと思いますか。

- 1. 1 年次
 - 2. 2 年次
 - 3. 3 年次
 - 4. 4 年次
 - 5. その他
- 意見など：20 件



例年 2 年次の割合が幾分大きい。2 年次の科目について開講数を含め検討する必要があるかもしれない。

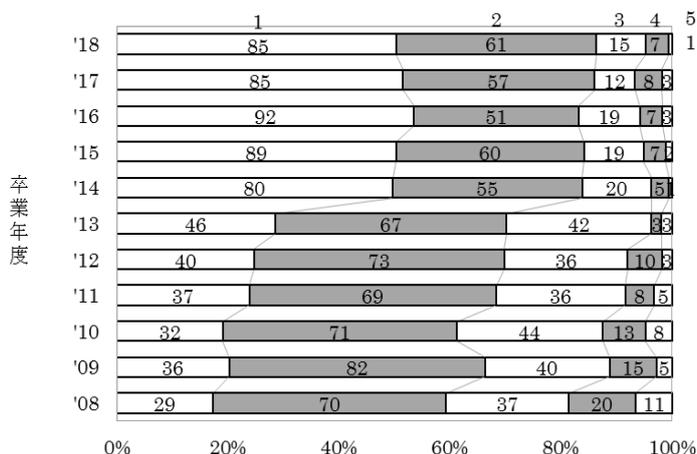
コース制全般についてお聞きします。

(B48) コース制に対して満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. どちらとも言えない
4. どちらかといえば不満足
5. 不満足

意見など：19件

ここ数年と同様に、満足度の高い傾向が続いている。現状を継続していくことに問題ないと考えられる。



(B49) コース制に対して意見があれば自由に記述して下さい。

回答数（意見など）：33件

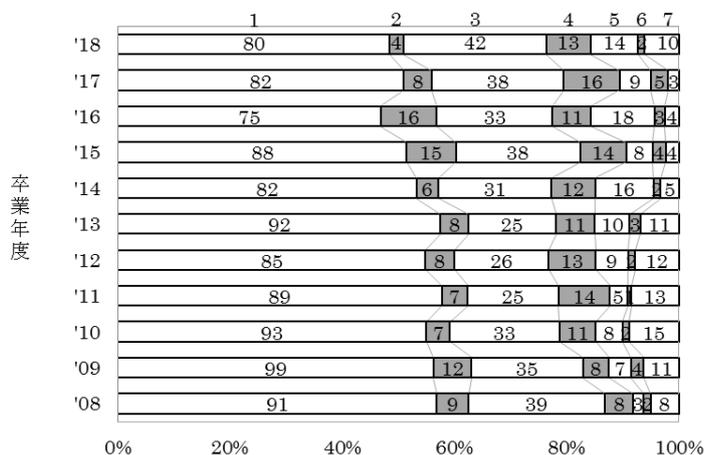
全般にコース制を支持しているが、意見にはコース決定時期を早めてほしいなどの指摘もされている。コース決定時期に関する検討をしても良いであろう。

C. 卒業後の進路について

(C1) あなたの4月以降の進路は何ですか。

- [大学院進学]
 1. 熊本大学
 2. 他の大学
- [就職]
 3. 民間企業
 4. 教職
(非常勤および臨時採用を含む)
 5. 公務員
 6. その他の就職先
 7. その他 (進学・就職以外)

その他：10件



ここ数年と概ね同様の傾向である。全体の約5割が大学院へ進学、そして民間企業への就職数が若干増加している。

(C2) 大学院に進学する人にお聞きします。大学院進学をいつ決めましたか。

回答数（時期）：81件

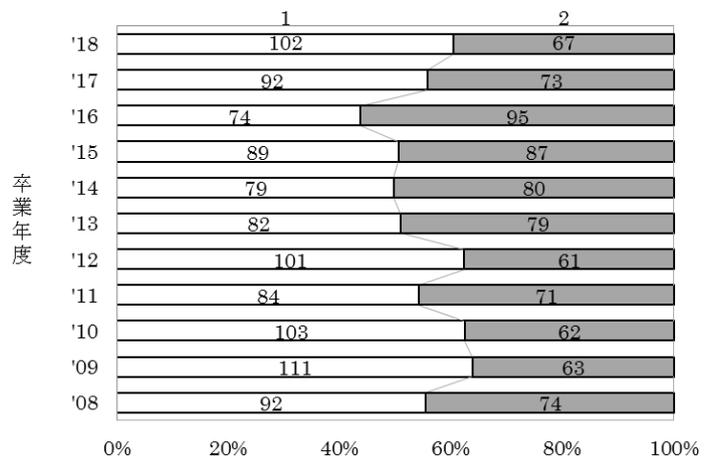
入学前（中学生・高校生・高校卒業時）	8人
入学時（入学当初）	8人
1年次	7人
2年次	3人
2年後期	2人
3年次	15人
3年前期	8人
3年後期	7人
4年次	5人
4年進学時（前期）	16人
4年後期	2人

大学入学前・入学時と、3・4年次の2つにグループ化できそうである。

(C3) 3年次に理学部が開催している就職説明会には出席しましたか。

1. はい
 2. いいえ
- 意見など：4件

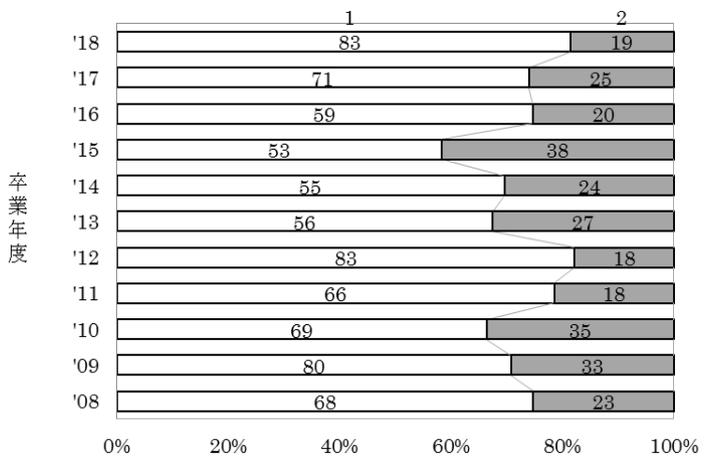
昨年度より「はい」の割合が増加、半数を超える。



(C4) 上記の就職説明会に出席した方にお聞きします。役立ちましたか。

1. はい
 2. いいえ
- 意見など：8件

「はい」の割合は8割を超え、就職説明会は有用であると感じているようである。



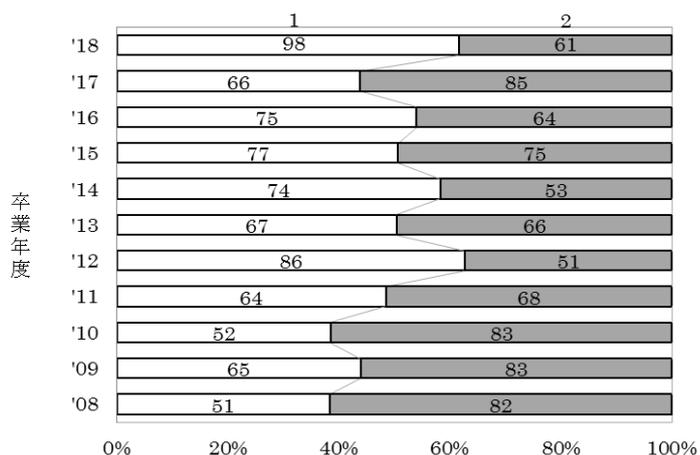
(C5) 就職に関する理学部からの情報提供は十分でしたか.

1. はい

2. いいえ

意見など：7件

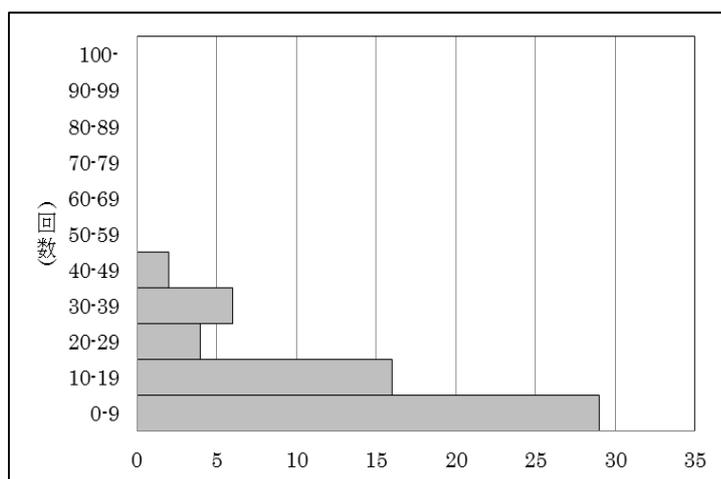
「はい」の回答が半数以上を占める。さらに具体的にどのような情報を学生が希望しているのか検討していく必要がある。



就職活動をした人にお聞きします。就職活動をしなかった人は(C10)に進んで下さい。

(C6) 就職活動（面接や企業訪問など）のため、企業を何回訪問しましたか。

回答数（訪問回数）：57件



0-9回までの学生数が最も多く、回数が多くなるほど減少する。

(C7) 就職活動をおこなった期間はいつですか。

開始時期	人数	終了時期	人数
平成 29 年 2 月	1	平成 29 年 6 月	1
平成 29 年 4 月	1	平成 30 年 3 月	2
平成 29 年 5 月	1	平成 30 年 4 月	2
平成 29 年 8 月	4	平成 30 年 5 月	8
平成 29 年 10 月	2	平成 30 年 6 月	8
平成 29 年 12 月	5	平成 30 年 7 月	7
平成 30 年 1 月	1	平成 30 年 8 月	6
平成 30 年 2 月	10	平成 30 年 9 月	5
平成 30 年 3 月	14	平成 30 年 10 月	6
平成 30 年 4 月	7	平成 30 年 11 月	7
平成 30 年 6 月	1	平成 30 年 12 月	1
平成 30 年 7 月	3	平成 31 年 1 月	1
平成 30 年 8 月	1	平成 31 年 2 月	1
平成 30 年 9 月	3		
平成 30 年 10 月	1		
平成 30 年 12 月	1		

意見など：2 件

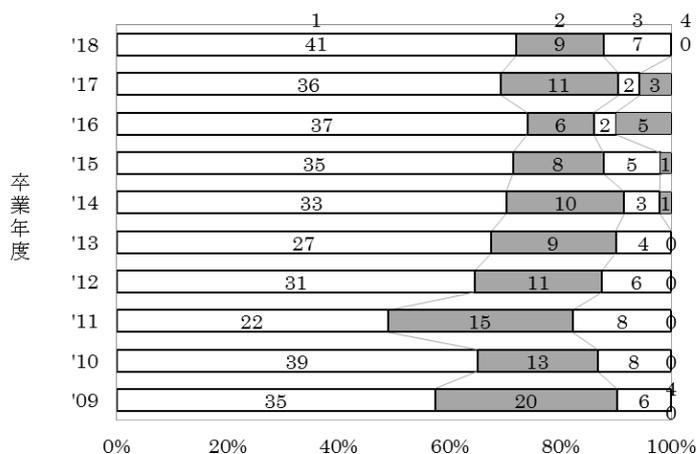
3 年生の 2～3 月と 4 年生の 5～7 月にピークがある。公務員試験のための勉強を就職活動とするのかどうか、学生に説明が必要かもしれない。

(C8) 就職活動のため、大学の授業や試験を休んだ回数は延べ何回ですか。思い当たる範囲で結構ですので、授業の回数（コマ数）でお書き下さい。

1. 0～5 回
2. 6～10 回
3. 11～30 回
4. 31 回以上

意見など：7 件

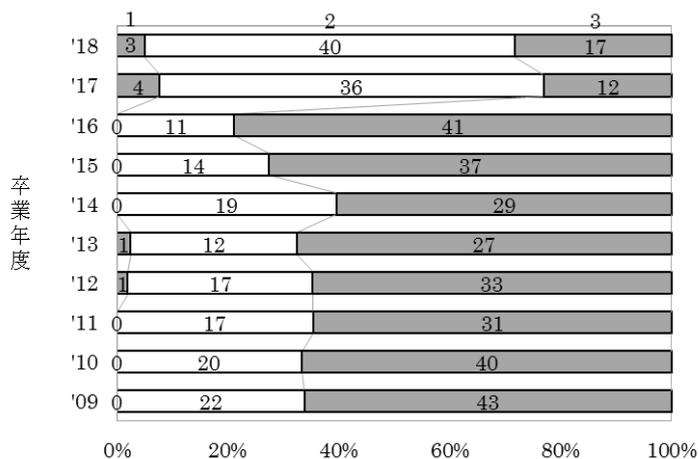
「0～5 回」の回答が全体の 7-8 割近くを占めている。4 年生の開講講義への影響はあまり深刻ではないと思われるが、3 年次の特にターム性講義に関しては影響が深刻になる可能性がある。



(C9) 企業等からの求人で学部やコースからの推薦を依頼されることがありますが、この推薦枠を利用されましたか。

1. 推薦枠を利用した
 2. 推薦枠を利用しなかった
 3. 知らなかった
- 意見など：3件

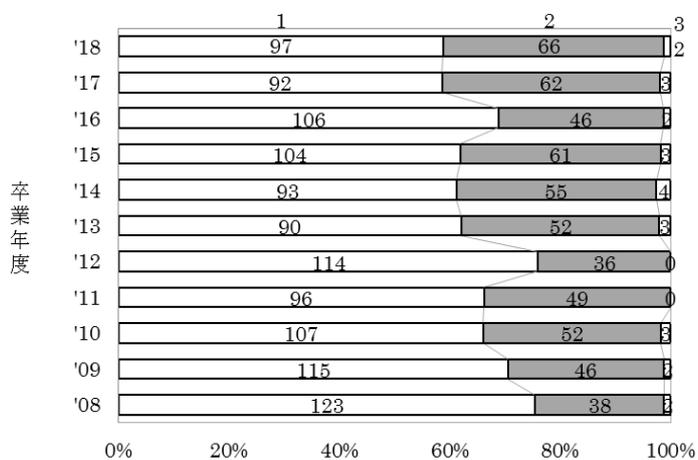
ここ1-2年に「推薦枠を利用しなかった」の割合が急増している。推薦枠の通知が徹底された結果とも読み取れる。



(C10) 現在、3年次を対象とした就職説明会は行っていますが、大学院進学希望者への学部全体での説明会は行っていません。大学院進学に向けての説明会はあった方がいいですか。

1. あった方がよい
 2. なくてもよい
 3. その他
- 意見など：12件

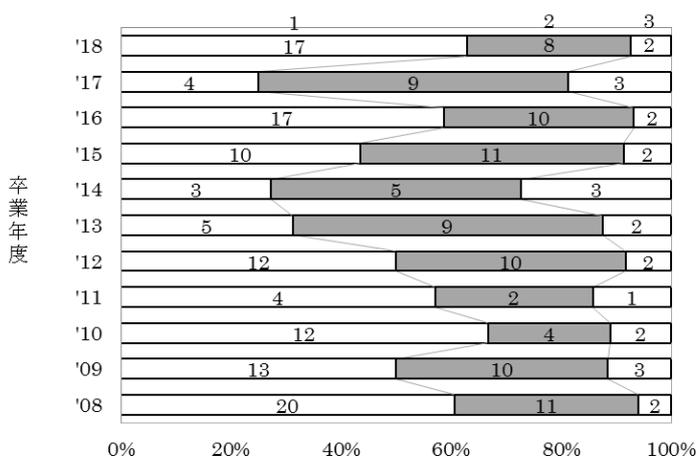
ほぼ昨年同様の割合であり「あった方がよい」が6割近くに達している。大学院進学に向けての説明会はあった方がよいようである。



(C11) 学外特別演習（インターンシップ）を履修した方にお聞きします。卒業後の進路を決める上で役立ちましたか。

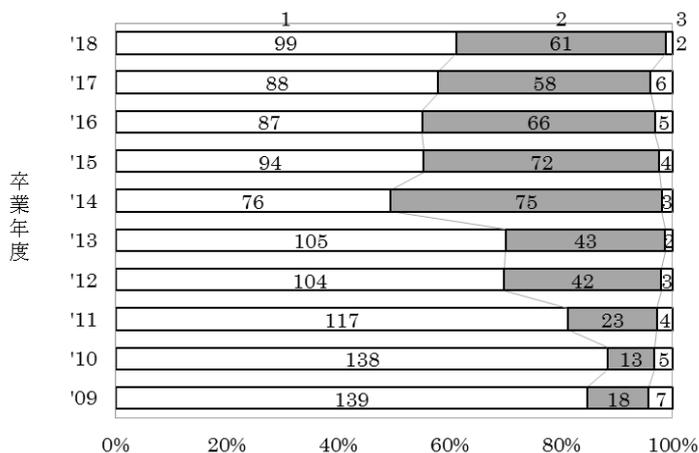
1. 役立った
 2. どちらとも言えない
 3. ほとんど役立たなかった
- 意見など：1件

総数が少なくかつ総数の年々のばらつきが大きいため傾向を読み取りにくいですが、18年度アンケートでは「役立った」の割合が5割を超える。



(C12) キャリア科目として理学概論を開講し、2年次に理学が企業などの管理職などでどのように活用されているかを学ぶ機会を設けています。このようなキャリア科目は必要だと思いますか。

1. あった方がよい
 2. なくてもよい
 3. その他
- 意見など：5件



ここ数年と同様の割合分布であるが、「あった方がよい」の回答が増加している。

(C13) その他、大学院進学や就職に関して希望することもしくは意見があれば、自由に記述して下さい。

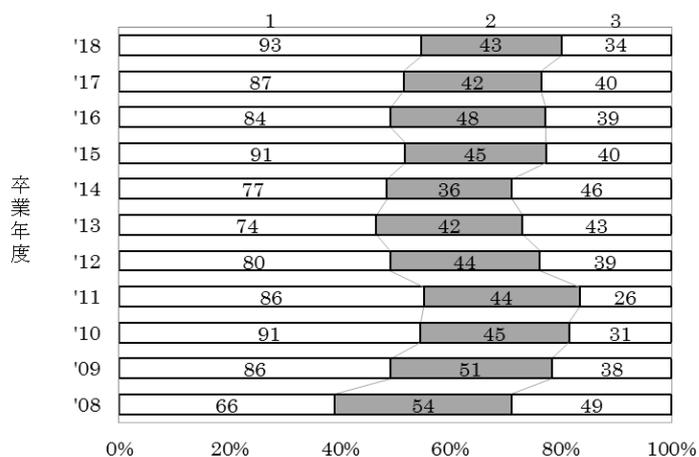
意見など：19件

大学院進学についてさらなる情報提供があっても良い等の意見が見受けられた。

D. 学習環境について

(D1) 自主的に学習できる場所や施設は十分ですか。

1. 十分
 2. どちらとも言えない
 3. 不十分
- 意見など：21件

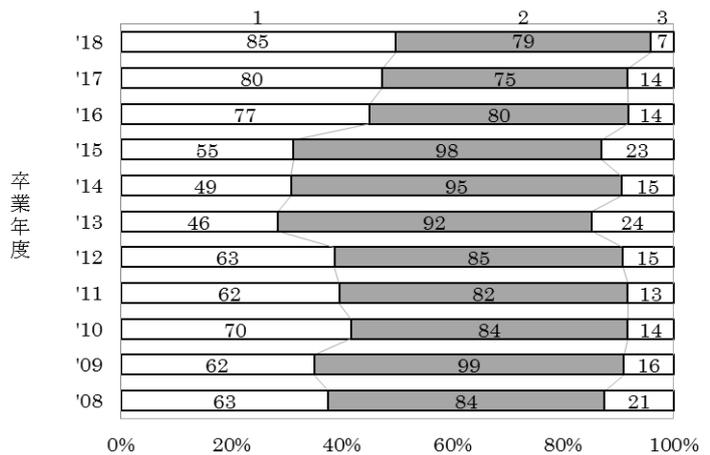


昨年度とほぼ同じ割合で、「十分」の回答が約半分を占める。学習室の長時間開放を求める意見が見受けられた。

(D2) 本学の中央図書館や理学部の図書室を利用しましたか。

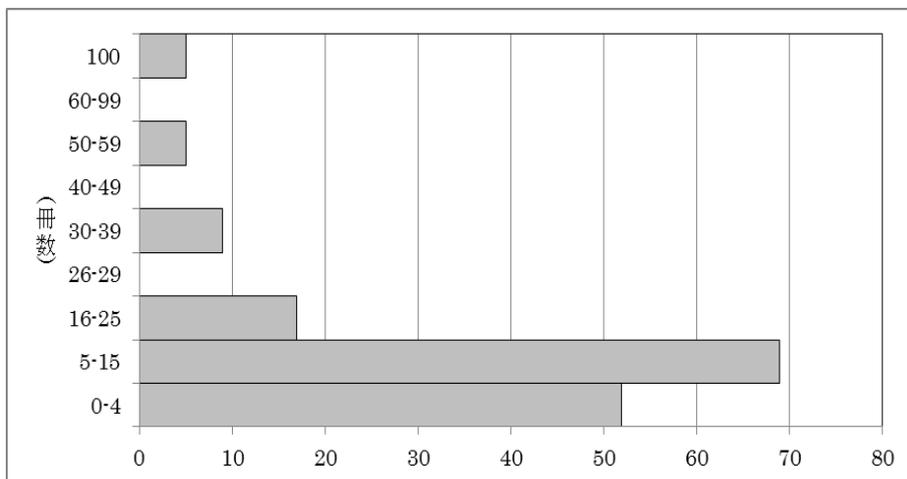
- 1. よく利用した
 - 2. 時々利用した
 - 3. あまり利用しなかった
- 意見など：8件

ここ数年「よく利用した」という学生の割合が増えている。



(D3) 教科書以外の専門書をどれぐらい読みましたか。冊数で答えて下さい。

回答数（冊数）：157件



平均 13 冊

意見など：16件

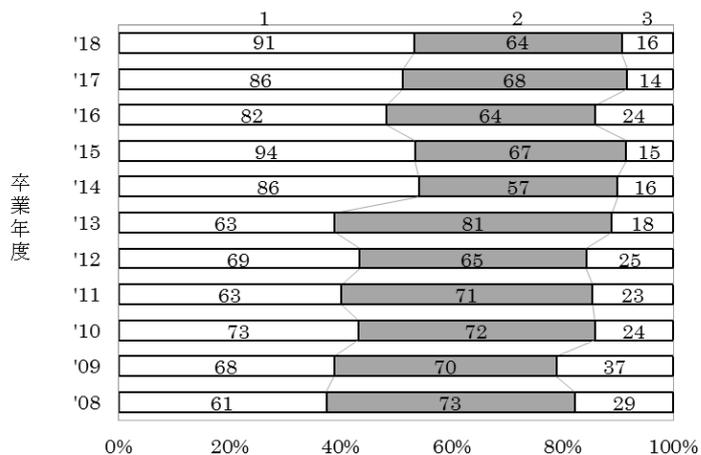
平均 13 冊は少ないように思われる。また「0-4」冊の割合が大きい点も注意が必要であろう。研究室配属後は、専門書と論文は同義と考えてよいと思われるので、読んだ論文数なども設問に入れてはどうか。

(D4) 本学の中央図書館や理学部の図書室の専門図書は充実していると思いますか.

1. はい
2. どちらとも言えない
3. いいえ

意見など：12件

ここ数年「はい」の回答が約5割に達している。まず充実していると捉えられているようである。

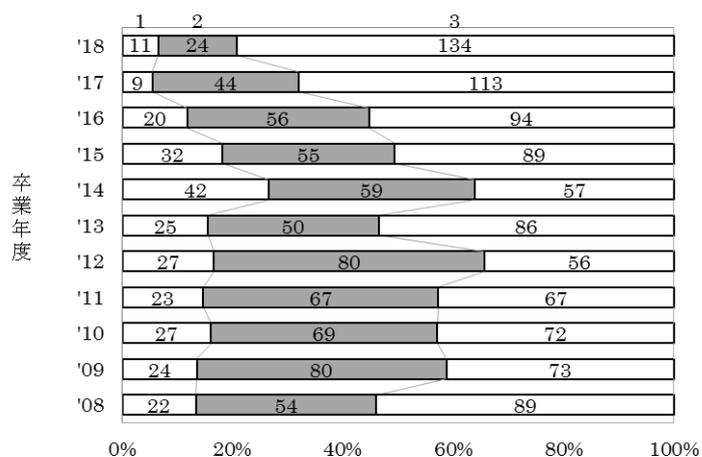


(D5) 理学部の計算機室は利用しましたか.

1. よく利用した
2. 時々利用した
3. あまり利用しなかった

意見など：11件

ここ数年「あまり利用しなかった」の割合が増加している。「存在を知らなかった」という意見も見受けられた。パソコンの所有率と合わせ検討する必要がある。



(D6) 自主的な学習環境として必要なものがあれば、挙げて下さい.

回答数 (必要なもの)：45件

休日に使えるそして夜中まで使える自習室の必要性をあげる意見を複数確認する。

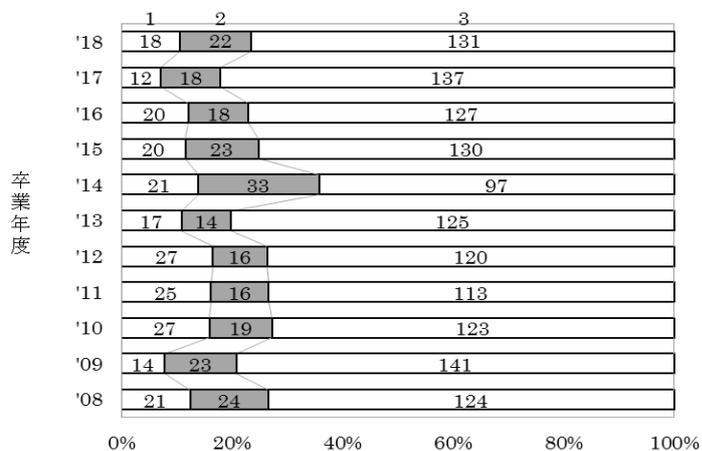
E. 学生生活について

(E1) 学生生活に関して担任やチューターに相談したことがありますか.

1. 2回以上
2. 1回
3. ない

意見など：4件

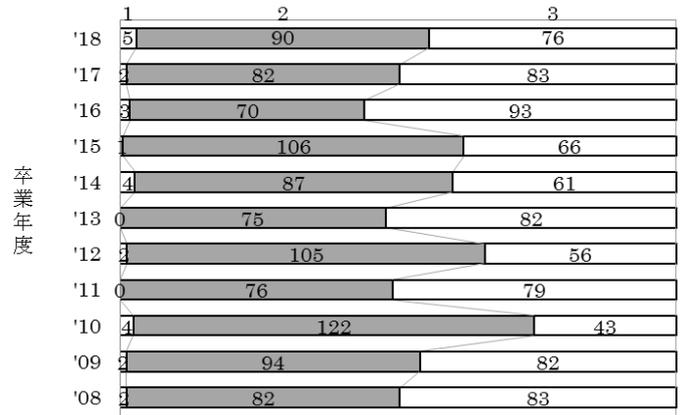
ほぼ例年通りの割合分布であり、「ない」の割合が8割近くに達している。



(E2) 学部長へのダイレクトメールについて

1. 利用したことがある
 2. 今まで利用したことはない
 3. 知らなかった
- 意見など：1件

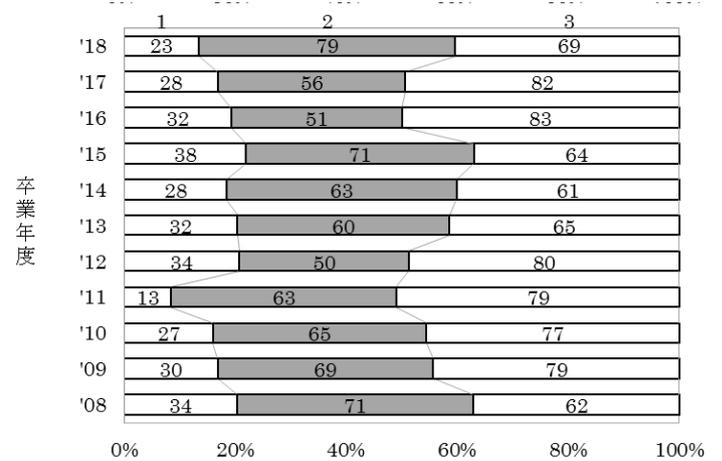
ほぼ例年通りの割合傾向であるが、「知らなかった」の割合も大きいので、さらなる周知の必要性がある。



(E3) 合宿研修，七夕祭り，球技大会など各種イベントに興味がありましたか。

1. 大いにあった
 2. 少しあった
 3. あまりなかった
- 意見など：3件

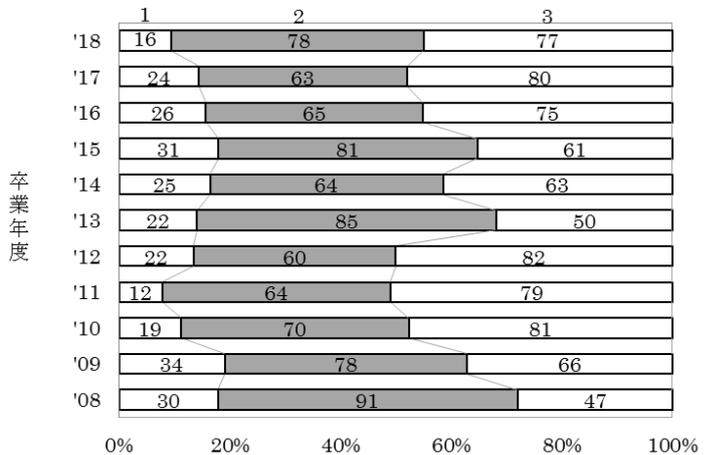
「あまりない」の割合が減り、「少しあった」の割合が増える。



(E4) 七夕祭りや球技大会に参加しましたか。

1. 3回以上参加した
 2. 1～2回参加した
 3. 参加したことはない
- 意見など：7件

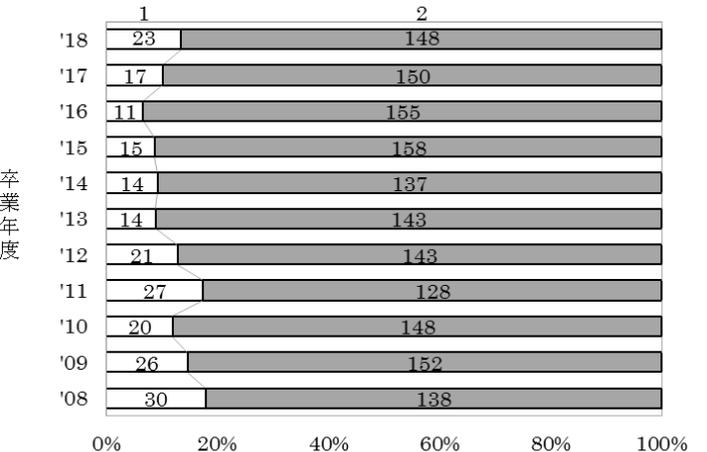
昨年度よりも「1～2回参加した」の割合が増加、「参加したことがない」割合が減少する。



(E5) 学生自治会の活動について

1. 知っている
 2. 知らない
- 意見など：2件

例年、「知らない」が大多数を占める。その周知を図り関心を高める必要がある。



(E6) イベントに参加して、感想や意見があれば、

自由に記述して下さい。

回答数（感想や自由記述）：18件

概ね好印象を得ているようである。

(E7) 他に実施してほしいイベントがあれば、自由に記述して下さい。

回答数（希望するイベント）：14件

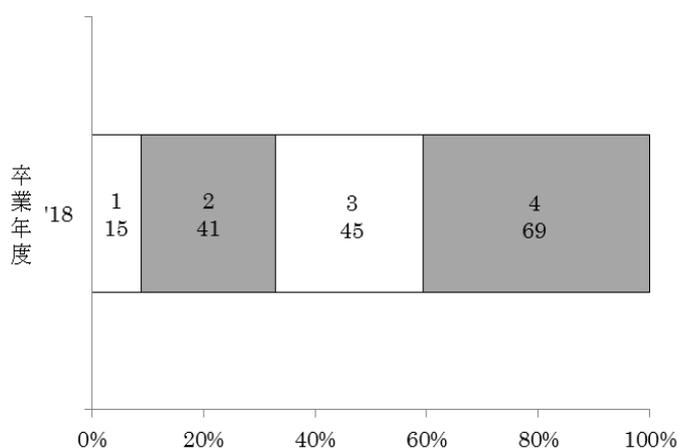
規模を大きくしてほしいとの意見を複数確認する。またコースごとのイベントやコースの情報を発信するイベントなどがあると良いとの意見を確認する。

(E8) 在学中は、学生生活を続けていく上で、
経済的な問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった

意見など：6件

問題があったとの回答が6割近くに達している。
検討を要する問題と捉えられる。

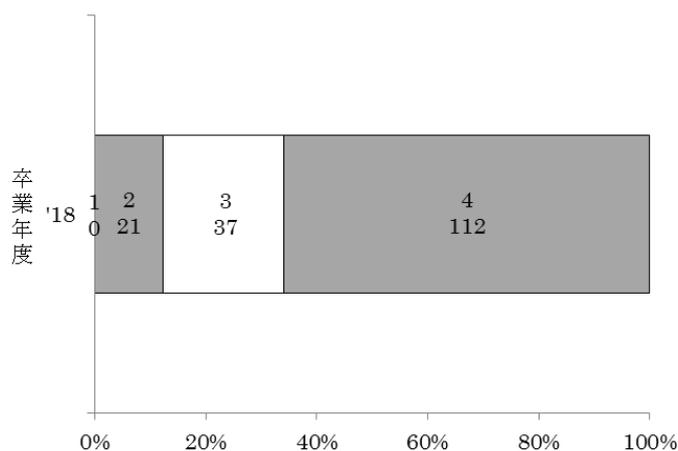


(E9) 在学中は、教員や学生との人間関係で問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった

意見など：11件

「全くなかった」が全体の6割を超えているが、この問題は特に「あった」と回答をしている学生がいた点を注視すべきである。

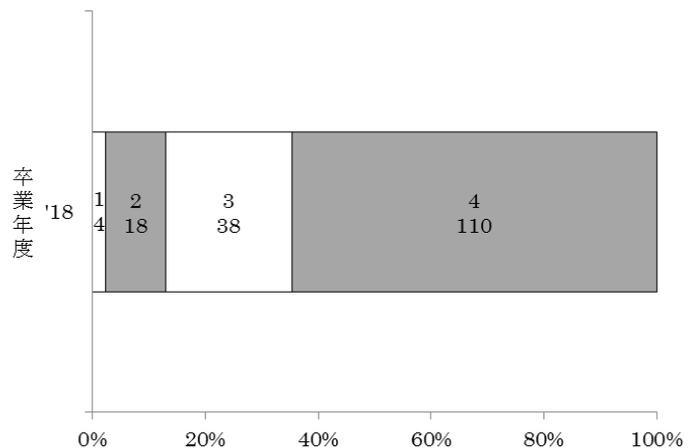


(E10) 在学中は、住居の条件や環境に問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった

意見など：10件

震災に関連してのコメントを複数確認したが、この問題も「あった」と回答している学生が4割近くいた点に注目すべきであろう。

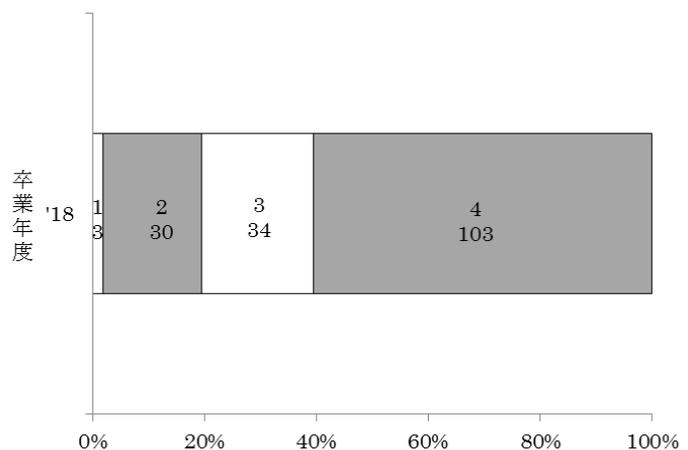


(E11) 学生生活を続けていく上で健康面に問題がありましたか。

1. ほぼ全期間にわたってあった
2. 時々あった
3. 少しだけあった
4. 全くなかった

意見など：5件

4年間に風邪をひく、インフルエンザにかかる等は、1, 2度はあると考えられる。設問を再検討する必要があると思われる。

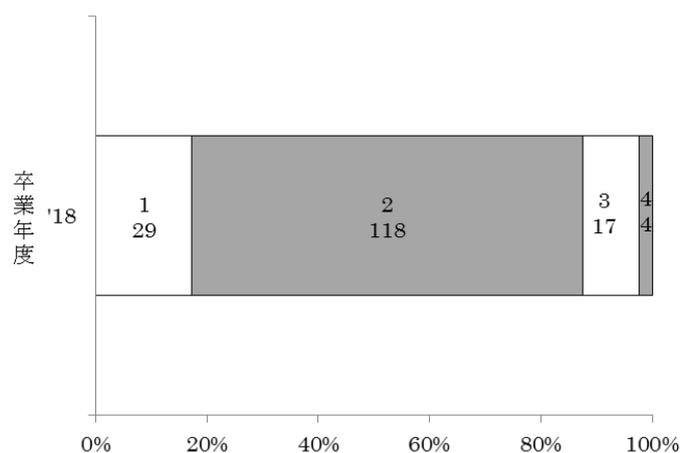


(E12) 健康相談の体制には満足できましたか。

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である

意見など：8件

満足と回答している学生の割合が8割を超えているが、多くは利用したことがないためこのような割合になっている可能性が高い。

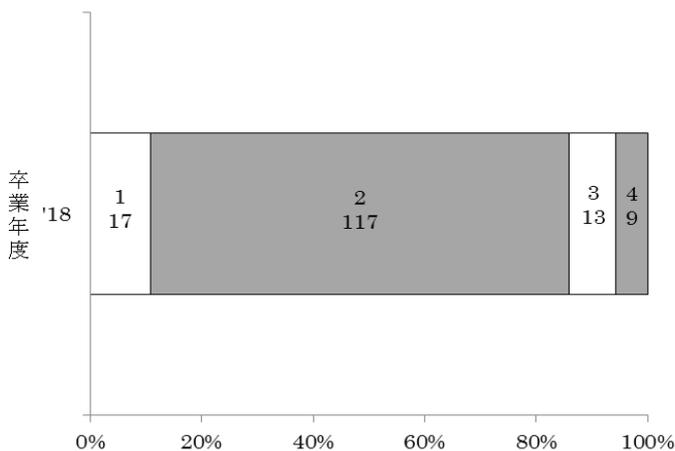


(E13) 各種ハラスメント相談の体制には満足できましたか.

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である

意見など：21 件

満足と回答している学生の割合が8割を超えているが、この問題についても多くは利用したことがないためこのような割合になっている可能性が高い。

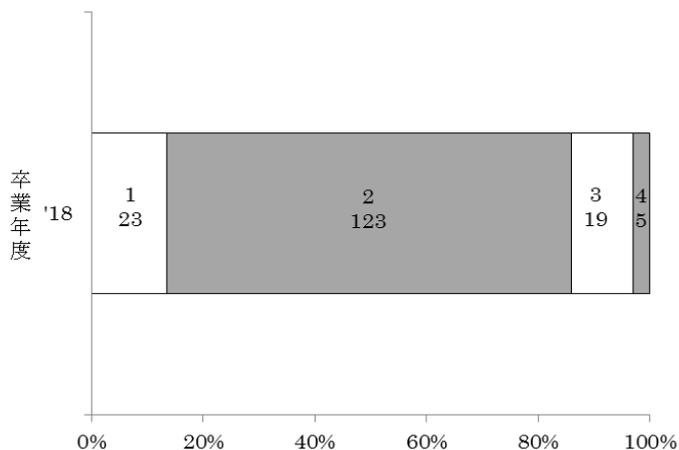


(E14) 授業・学習支援・生活支援を含む熊本大学の学習環境全体の満足度についてお聞きします.

1. 大いに満足である
2. 満足である
3. 不満足である
4. 大いに不満足である

意見など：11 件

満足であると回答している学生の割合が8割を超えている。さらなる自習室の充実を求める意見を確認する。



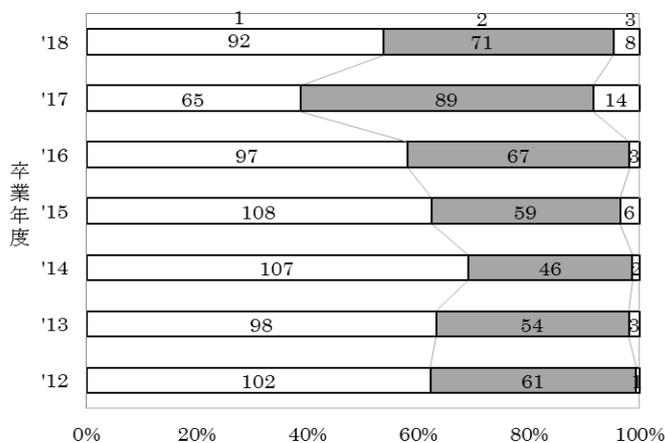
F. 授業改善アンケートおよびシラバスについて

シラバスについてお聞きします.

(F1) シラバスは良く読みましたか.

1. 良く読んだ
2. 真剣には読まなかった
3. 見ていない

意見など：8 件



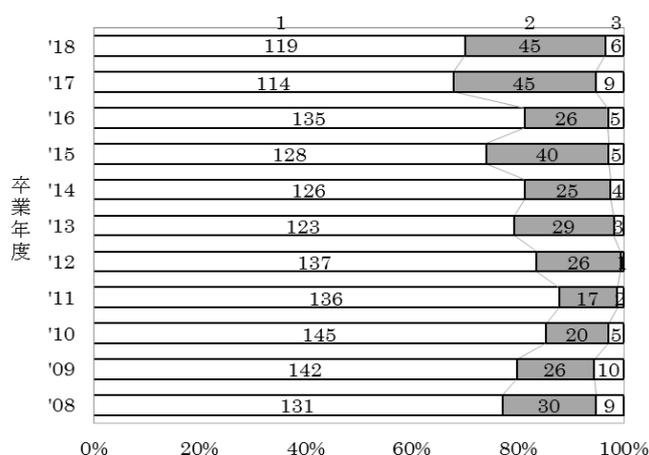
17年度に比べ「良く読んだ」の割合が増加、16年度の割合近くにまで戻している。必要に応じて読んだ、とのコメントを複数確認。

(F2) 履修する科目を選択する際にシラバスは役立ちましたか.

1. 役立った
2. どちらとも言えない
3. ほとんど役立たなかった

意見など：8件

「役に立った」という回答割合が幾分増加。しかし依然として「どちらとも言えない」「ほとんど役立たなかった」の割合が大きいので対応を検討する必要がある。

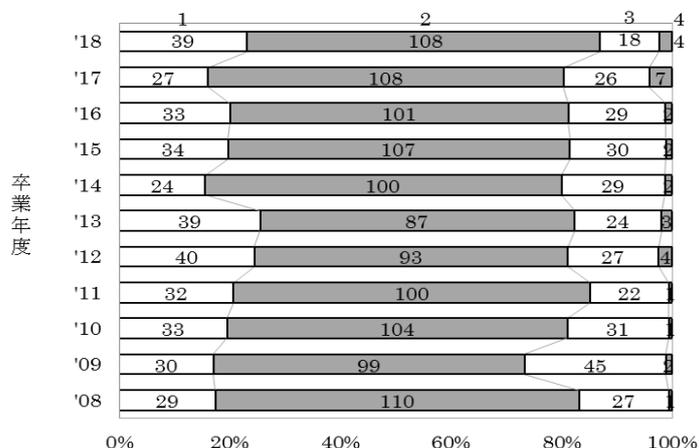


(F3) 成績評価の方法はシラバスに明確に記述して欲しいですか.

1. 記述して欲しい
2. 今の程度でよい
3. その他

意見など：4件

「今の程度でよい」が6-7割に達しているが、「記述して欲しい」の割合がそれなりに大きい点を注意する必要がある。

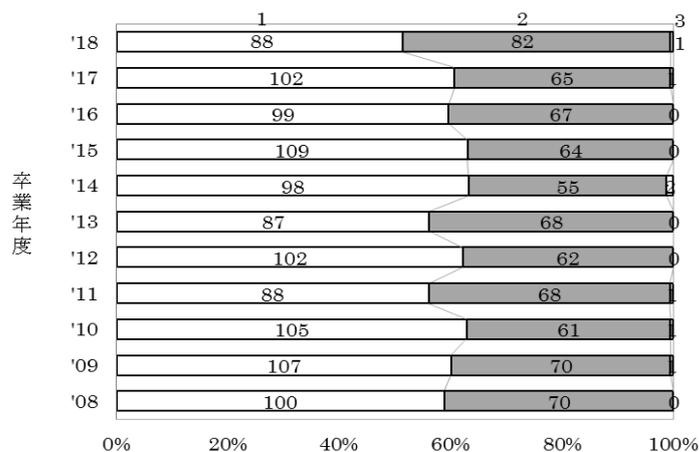


(F4) 全体的に、シラバスに記載された方法で厳格な成績評価が行われていると思いますか.

1. 行われている
2. 多くの科目で行われている
3. あまり行われていない
4. その他

意見など：6件

「行われている」と「多くの科目で行われている」は合わせて8割程度であり、おおむね良好と思われるが、「行われている」の割合が減っている点は、注視する必要がある。

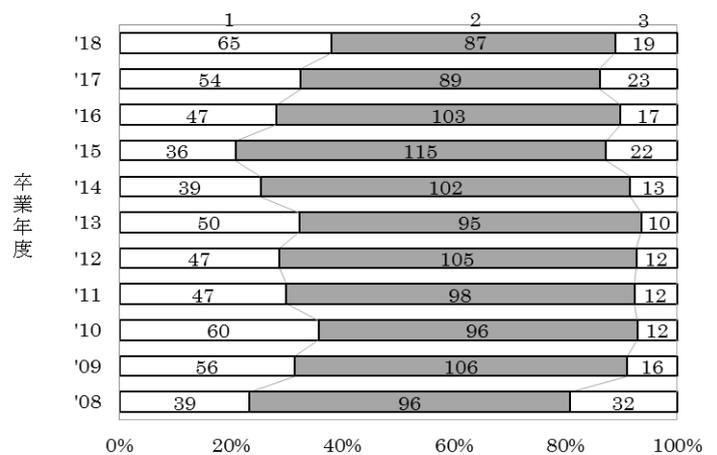


「授業改善のためのアンケート」についてお聞きします

(F5) アンケートの目的は理解していますか。

1. 十分理解している
 2. ほぼ理解している
 3. よくわからない
- 意見など：2件

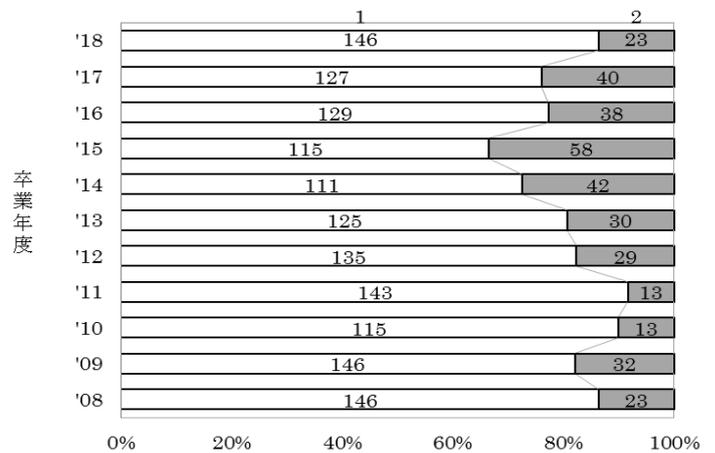
概ね理解されていると考えられる。「十分理解している」の割合がここ数年増加してきている。



(F6) アンケートの回答に積極的に協力しましたか。

1. はい
 2. いいえ
- 意見など：4件

「はい」の割合が増加、8-9割に達する。



(F7) Web 上での教員のコメントは読みましたか。

1. はい
 2. いいえ
- 意見など：8件

「いいえ」の割合が依然 7割近くに達しており改善が必要である。

